

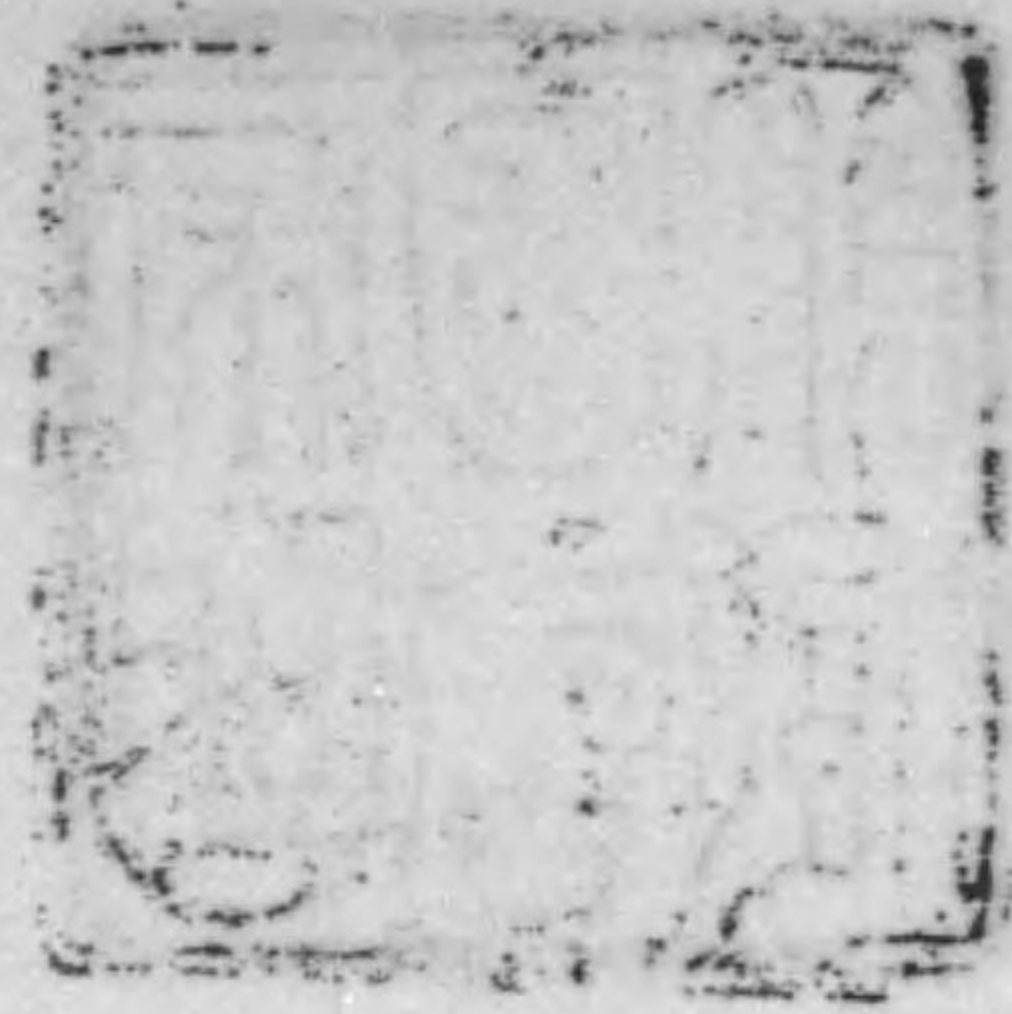
142
229

大正
三年度
宮城縣米穀檢查報告



始





緒言



大正三年度ニ於ケル米穀ノ検査
改良ニ關スル事務ノ概要及成
績ノナリ

大正四年八月

宮城縣米穀検査所

大正
4. 10. 2續
内交

第三、輸出米檢查成績

- 一、輸出米檢查高月別表
- 二、輸出米檢查成績表
- 三、輸出檢查米縣外仕向高
- 四、米穀檢查規則第十一條第二項ニ依ル輸出米再檢查高
- 五、米穀檢查規則第十三條ニヨル點檢高
- 六、米穀檢查規則第十四條ニヨル點檢高
- 七、米穀檢查規則第十七條ニヨル點檢高
- 八、違犯者取締

第四、農事ノ指導督勵成績

- 一、種籽品種別調査
- 二、苗代整地及播種成績
- 三、苗代害虫驅除成績
- 四、早植及正條植實施成績
- 五、苗代跡作實施成績
- 六、稻乾燥督勵成績

第五、雜件

- 七、秋耕獎勵成績
- 八、俵裝材料製作指導獎勵成績
- 一、縣外米輸出入高調
- 二、俵裝材料及俵仕賃調
- 三、輸出玄米容量檢查各月平均秤量調査表
- 四、米價高低月別表
- 五、大正三年產米受渡格付表
- 六、千俵以上輸出米檢查申請者調
- 七、米穀檢查所費豫算
- 八、米穀檢查所職員

附錄

- 米穀檢查令規
- 米穀檢查規則
- 米穀檢查施行手續

三五
三五
三七
四〇
四二
四三
四四
四四
四六
四七
四七
四七
四九
五〇
五一
五二
五三

五四
五五
五六
五六
五六
五七
折込
折込
六五
六五
六七
六九
一
一
六

米穀檢查所規程	一七
米穀檢查所處務規程	一八
米穀檢查標準米查定會規程	一九
米穀檢查所職員服務心得(附生產米檢查員)	二〇
米穀檢查二關スル件	二一
俵裝材料代及俵仕賃調査報告ノ件	二二
搗減歩合ニ關スル調査ノ件	二三
縣外米輸出入高調査報告ノ件	二四
輸出米檢查日表旬報ノ件	二五
米穀檢查沿革ノ概要	二六
本縣ノ產米ハ古來本石米ト稱シ東京市場ニ聲價ヲ博シタリシカ貢米ノ制廢セラレテ	二七
以來漸次品質劣調製粗雜ニ流レ遂ニ聲價ヲ失墜スルニ至リシニ由リ明治十八年松	二八
本縣令在任中米商組合ヲシテ米檢查ヲ行ハシメタルハ之レ本縣ニ於ケル米穀檢查ノ	二九
濫廢ニシテ稍ニ改良ノ緒ニ就キタリシモ組合事業ノコトナルヲ以テ檢查モ漸次弛廢シ	三〇
竟キ有名無實トナリ組合ハ種々ナル事情ノ爲メ明治三十年解散スルコト、ナリ檢查	三一
モ亦隨テ廢止セリ茲ニ於テ再ヒ調製粗雜ノ弊習ヲ生シ一年其甚シキヲ見三十六七	三二
年ノ頃ニ至リ東京市場ニ於テ格付表中ヨリ陸前米ヲ排除セントスルノ意見續出シ殆	三三
ト之レカ實行ノ否運ニ陥ラントスルニ際シ本縣内ノ有志之ヲ憂慮シ三十七年十一月	三四
縣農會ヨリ又同年十二月米商同業組合ヨリ縣事業トシテ輸出米檢查ヲ實行セラレ	三五
コトヲ建議スルニ至リ縣當局ニ於テモ亦之ヲ放任スルトキハ縣下ノ重要物產タル米	三六
穀ノ價格ヲ低落セシメ其影響スル所鮮少ナラサルヘキヲ以テ先ツ輸出米檢查施行ノ	三七

大正三年度宮城縣米穀檢查報告

第一 米穀檢查及農事指導督勵ノ梗概



米穀檢查沿革ノ概要

本縣ノ產米ハ古來本石米ト稱シ東京市場ニ聲價ヲ博シタリシカ貢米ノ制廢セラレテ以來漸次品質劣調製粗雜ニ流レ遂ニ聲價ヲ失墜スルニ至リシニ由リ明治十八年松本縣令在任中米商組合ヲシテ米檢查ヲ行ハシメタルハ之レ本縣ニ於ケル米穀檢查ノ濫廢ニシテ稍ニ改良ノ緒ニ就キタリシモ組合事業ノコトナルヲ以テ檢查モ漸次弛廢シ竟キ有名無實トナリ組合ハ種々ナル事情ノ爲メ明治三十年解散スルコト、ナリ檢查モ亦隨テ廢止セリ茲ニ於テ再ヒ調製粗雜ノ弊習ヲ生シ一年其甚シキヲ見三十六七年ノ頃ニ至リ東京市場ニ於テ格付表中ヨリ陸前米ヲ排除セントスルノ意見續出シ殆ト之レカ實行ノ否運ニ陥ラントスルニ際シ本縣内ノ有志之ヲ憂慮シ三十七年十一月縣農會ヨリ又同年十二月米商同業組合ヨリ縣事業トシテ輸出米檢查ヲ實行セラレコトヲ建議スルニ至リ縣當局ニ於テモ亦之ヲ放任スルトキハ縣下ノ重要物產タル米穀ノ價格ヲ低落セシメ其影響スル所鮮少ナラサルヘキヲ以テ先ツ輸出米檢查施行ノ

計劃ヲ樹テ三十七年度ニ於テ縣會ノ協賛ヲ經テ豫算ヲ追加シ米検査費ヲ置キ準備ヲ
整ヘ三十七年十二月二十六日輸出米検査規則ヲ定メ同月二十七日検査員ヲ任命シ檢
査所三ヶ所同支所十四ヶ所ヲ置キ三十八年一月一日ヨリ之ヲ實施シタリ
當時既ニ三十七年ノ産米ハ調製俵裝ヲ了シタル後ナレバ米商人ノ手ニ於テ之ヲ再製
シ検査ヲ受ケタル故米質ノ異ルモノ乾度ノ同シカラザルモノ等ヲ混合スルニ至リ改
良上完全ナル効果ヲ見ル能ハサリシヲ以テ翌三十八年ノ産米ニ望ヲ囑シ大ニ期待ス
ル所アリシカ同年ハ天候不順ノ爲メ未曾有ノ大凶作ニ遭遇シ而モ巨額ノ外米ヲ輸入
シタル實況ナリシニ依リ一二ノ検査所支所ヲ除ク外ハ殆ト検査休止ノ状態トナリ
隨テ積年粗漫ニ流レタル陋習ハ容易ニ脱却スルコト能ハザルノ狀勢ニ陥リタリ
當時農家ヲ警醒シ改良ノ實績ヲ舉タルニアラサレバ陸前米ハ竟ニ市場ヨリ排斥セラ
レ價格ノ低落ハ殆ント挽回スルノ期ナカリシヲ以テ明治三十九年九月米取締規則ヲ
設ケ種粍ノ撰擇ヨリ播種、插秧、除草、收穫、乾燥、調製、俵裝等ニ至ルマテ一々之ヲ規定シ以
テ積弊ヲ除却シ改善ニ至ラシメンコトヲ企圖シ同年十月検査規則ヲ改正シテ輸出米
ハ勿論一部産米ノ検査ヲ行フコト、シ検査出張所二十七ヶ所ヲ増設シ以テ大ニ其實
績ヲ舉ケンコトヲ期セシニ同年モ天候適順ナラス竟ニ平年ニ比シ三分余ノ減收トナ

リ米質ノ粗惡ハ前年産米ヨリモ尙ホ甚シク豫期ノ效果ヲ見ル能ハサリシニ
明治四十年ハ天候頗ル稻作ニ適シ且ツ米取締規則ノ厲行ニ依リ近年稀ナル良米ヲ産
出シ稍ヤ其目的ヲ達スルヲ得タリ
明治四十一年四月訓令並告諭ヲ以テ重要農作物增收ニ關スル六大要項一、拔穂、二、早播
早植、附正條植、三、深耕、四、肥料、五、稻乾燥、六、勤勉力行ヲ定メ農事ニ關スル指導獎勵ノ方針
示シタリ
同年五月再ヒ米検査規則ヲ改正シ検査ヲ産米検査輸出米検査ノ二種ニ別テ各市町村
ニ産米改良委員ヲ配置シ縣内産出ノ玄米ニシテ賣買又ハ小作米ニ供スルモノハ總テ
其米ノ所在地即チ農家各戸ニ就キ産米検査ヲ行フコト、爲シ十月ヨリ開始シタリ
輸出白米検査ハ四十一年ノ創始ニ係リ六月輸出米検査施行地ニ於テ臨時査定會ヲ開
キ七月ヨリ之ヲ實施シタリ
明治四十二年八月米取締規則並米検査規則ノ一部ヲ改正シタリ同年ハ幸ニ天候適順
ニシテ生産者ノ勤勞亦稍、其ノ効ヲ奏シ赤米及稗ノ混入著シク減少シ乾燥又一段ノ進
歩ヲ示シ近年稀ナル良米ヲ出スニ至レリ
本縣産米ノ俵裝ハ藩制當時ハ本石俵裝ト稱シテ其俵形適度ヲ得俵拵亦堅固ニシテ脱

粒スルカ如キコトナキヲ以テ市場ニ於ケル名聲高カリシカ維新後米ノ調製粗悪ニ流レタルト同時ニ俵裝亦粗雜ニ傾キ昔日ノ形容ヲ止メサルニ至リタルヲ以テ検査施行後ハ一定ノ標準ヲ定メ改善ニ努メタル結果内容ノ改善ト俱ニ著シク其ノ面目ヲ革メタリ固ヨリ未タ昔日ノ如ク名聲ヲ博スルニ至ラサルモ漸次市場ノ稱讚ヲ受クルニ至リ明治四十三年四月東京廻米問屋組合ヨリ俵裝改良ノ進歩歴然タルモノアルノ故ヲ以テ「推頌狀」ヲ受ケタリ

明治四十三年ハ未曾有ノ水害ニ遭遇シ米ノ産額半減シタルニ依リ検査高著シク減少シ隨テ豫期ノ効果ヲ見ル能ハサリシモ産米検査實施以來改良ノ成績著シク舉レルニ依リ同年十一月ノ格付會議ニ於テ從來ヨリ一躍四階級ヲ進メラレ其最上米ハ標準米ニ比シ三階級ヲ進ミタリ

明治四十四年ノ稻作ハ四十二年ニ次キ稍豊稔ナリシト價格ノ昂騰トニヨリ十一月ヨリ輸出検査高頓ニ増加シ輸出米検査開始以來未曾有ノ検査高ヲ見タリ
大正元年十一月米検査規則ノ一部ヲ改正シテ輸出米ヲ一等、二等、三等、等外ノ四等級ニ區別シ大正二年二月一日ヨリ之ヲ施行シタリ
大正二年ノ稻作ハ四十三年ニ次クノ大洪水ノ爲メ大ニ收穫ヲ減シ米質ノ劣悪ナル近

年其比ヲ見サルノ不成績ヲ示シタリ
大正三年一月米検査規則ノ一部ヲ改正シテ輸出三等ノ次ニ四等ノ一階級ヲ設ケ從來四等級ノ區別ヲ五等級ニ改メ二月一日ヨリ之レヲ實施セリ
大正三年三月米検査規則同施行手續、米検査所規程、同處務規程、其他關係令規ヲ改正シテ米取締規則ヲ廢シ米穀検査所ノ組織ヲ現在ノ制度ニ改メタリ
今米穀検査創始以來ノ年度別検査高ヲ表示スレハ左ノ如シ

米穀検査實施以來ノ年度別検査高

年	米作付反別	總收穫高	一反歩收穫高	輸出米検査高	生産米検査高
三年	八三五八三・七	一、五五七、六九九	一八六四	二七七、五三二	七一五、七七二
二年	八三三九一・四	六二六、五四七	七五一	二二六、九三〇	四三一、六一六
元 年	八二、二六三・四	一、一三五、三八九	一三八〇	三〇二、九〇五	六〇七、〇二二
四十四年	八一、一四四・五	一、一八三、五九〇	一四五九	三二二、七八二	六四三、九八六
四十三年	八一、一七四・〇	六〇三、二〇六	七四三	一三八、七五八	三九六、二九八
四十二年	八〇、八六九・八	一、一八九、九七一	一四七一	二九一、八八〇	六二二、七八一
四十一年	八〇、四九五・七	九七六、〇八二	一、二二七	二二二、二一四	三九七、〇四四
四十年	七九、八二〇・五	九七五、八三五	一、二二二	三二五、五二七	
三十九年	七九、五一八・二	七九二、三四〇	九九六	二二二、〇四四	
三十八年	七九、四八八・六	一四二、七一八	一八〇	一三七、六七一	

二、農事ノ指導督勵

四月十六日訓令乙第一八五號ヲ以テ米穀検査所職員服務心得及生産米検査員執務要項ニ關スル件ヲ定メ又四月十七日訓令甲第二十號ヲ以テ稻作改良增收ニ關スル必行事項ト獎勵事項トヲ定メ以テ農事ノ指導督勵上遺憾ナキヲ期シタリ

四月廿五日ヨリ四日間支所長ヲ縣廳ニ會シ改正諸規程ノ實施方法ニ就キ協議シ又五月上旬ニ於テ二日間生産米検査員及生産米検査員補ヲ各郡役所ニ會シ米穀ノ検査並ニ農事ノ指導督勵事項ニ關シ本所監督及支所長ヲシテ指示セシメタリ而シテ督勵事項ノ實施ニ際シテハ本所員及支所員ヲ各郡市ヘ派遣シ郡市町村當局ト協力シテ其督勵ニ當ラシメ實施上遺憾ナキヲ期シ又毎月上旬各郡役所ニ於テ生産米検査員例會ヲ開催シ支所長並郡當局之レニ臨席シ督勵事項ノ實施ニ就キ指示又ハ協議ヲナシタリ其督勵成績ハ第四農事ノ指導督勵成績ノ項ニ記載セリ

三、米作ノ概況

四月上旬氣候寒冷ナリシ爲メ稍、播種期ヲ失シタルモノアルモ概テ適期ニ播種ヲ了シ其後天候適順ニシテ苗ノ生育ヲ促シ插秧期ニ際シテハ早天打續キ僅ニ插秧ヲ遅延シタル者アルモ例年ヨリ一般ニ一週間早植ヲ見タリ七月上中旬ノ分蘗期ニ於テハ曇雨

冷涼ナリシ結果稍、分蘗ヲ阻害シタルモ其後ノ天候順ニ復シ氣温ノ上昇ハ著シク其生育ヲ促進シタリ而シテ例年ニ比シ病虫害少ナク八月十三、四日ノ颱風モ被害殆ント無カリシタメ生育良好ニ經過シ之ヲ平年ニ比スレバ分蘗稍ヤ劣ルモ出穂開花ノ狀況良好ナリシ結果第一回豫想(二百十日一週間前八月二十七日)ニハ一、三九二、九〇〇石ヲ算シ平年ニ比シ(平年作九八三、四八九石)四割二分ノ增收ヲ豫想シタリ其後八月二十九日夜ヨリ同三十日朝ニ於ケル暴風雨ノタメ堤防破壊シ冠水セルモノ及晩稻ヲ晩植セル結果當時開花中ニアルモノ等ハ僅少ノ被害ヲ受ケタルヲ以テ第二回豫想(秋分九月二十四日)ニハ一、三二八、二、三七一石ヲ算シ第一回豫想ニ比シ僅ニ一〇、五二九石ノ減收ヲ豫想シタリシモ其後天候倍々順境ニ向ヒ殘暑亦永カリシ結果結實良好ニシテ其實收高ハ實ニ一、五五七、六九石ニ達シ平年ニ比シ五割八分増前年ニ比シ十四割九分ノ增收ニシテ本縣産米ノ新記録ヲ造ルニ至レリ其作付反別及收穫高ハ左表ノ如シ

米作付反別及收穫高

(郡市別)

仙臺 刈田	作付		反別		收穫		高		平均	
	粳米	糯米	陸米	計	陸米	計	陸米	計	陸米	計
一、八八二	七五八	一七九八	一	七七八	一、四三五	一、四六五	一、八九三	一、五〇八	一、八九三	一、五〇八
一、八八二	七五八	一七九八	一	七七八	一、四三五	一、四六五	一、八九三	一、五〇八	一、八九三	一、五〇八
一、八八二	七五八	一七九八	一	七七八	一、四三五	一、四六五	一、八九三	一、五〇八	一、八九三	一、五〇八

一、收穫高ノ欄本年ノ合計ト内譯トノ符合セサルハ内譯ハ其郡市毎ニ合計ハ縣全体ニ於テ平均計算シタルニヨル
一、表中一ハ減差ヲ示セルモノナリ

四、生産米検査

米穀検査規程ヲ改正シテ各市町村ニ新ニ任命シタル生産米検査員及生産米検査員補
ヲ配置シ五月上旬ニ於テ二日間及秋季検査標準米査定會當日ニ生産米検査員及生産
米検査員補ヲ各其郡役所ニ召集シ検査上特ニ注意スベキ事項ヲ指示シ以テ確實ニ檢
査ヲ進メタリ而テ本所監督及支所長ヲシテ指導監督ノ任ニ當ラシメ又監督員ハ生産
者地主米商人等ノ倉庫或ハ輸送中ノ米ニ就キ検査ノ適否検査ノ寬嚴即チ調製ノ精粗、
等級ノ當否俵裝ノ可否等ヲ試査シ欠點アルモノハ當該検査員ニ注意シ検査ノ嚴正ト
取締ノ周到ヲ期シタリ今左ニ最近五ケ年間ノ年度別生産米検査高ヲ表示ス

最近五ケ年間生産米検査高

年	生産米検査高		成		級		種		別		受檢延人員
	上	並	米	並	米	外	米	小	作		
三	七、五七七一	二、八七、四九八	三、九八、四八二	二、九七、七九一	三、三二、八〇一	三、九二、九七〇	二、〇〇、七三九	二、〇〇、七三九	二、〇〇、七三九	二、〇〇、七三九	二、〇〇、七三九
二	四、三、六、一六	九、三、六、七三	三、〇、三、七三六	三、四、一、〇七	二、九、一、八三	三、〇、二、四三三	二、〇、二、四三三	二、〇、二、四三三	二、〇、二、四三三	二、〇、二、四三三	二、〇、二、四三三
元	六、〇七、〇一一	一、四、二、四六七	四、一、三、一四八	五、一、四、〇六	三、一、四、〇六	三、一、四、〇六	三、一、四、〇六	三、一、四、〇六	三、一、四、〇六	三、一、四、〇六	三、一、四、〇六
四十四年	六、四三、九八六	二、〇七、〇七七	四、〇三、七〇三	三、三、一、〇六	三、三、一、〇六	三、三、一、〇六	三、三、一、〇六	三、三、一、〇六	三、三、一、〇六	三、三、一、〇六	三、三、一、〇六

其百分率

四十四年	三九六、二九八	一四七、六六七	三三三、三三九	二四、三〇一	二二七、三三九	一六八、九九九	一三三、四六〇
元	三九六、二九八	一四七、六六七	三三三、三三九	二四、三〇一	二二七、三三九	一六八、九九九	一三三、四六〇
三	三九六、二九八	一四七、六六七	三三三、三三九	二四、三〇一	二二七、三三九	一六八、九九九	一三三、四六〇
二	三九六、二九八	一四七、六六七	三三三、三三九	二四、三〇一	二二七、三三九	一六八、九九九	一三三、四六〇
四十四年	三九六、二九八	一四七、六六七	三三三、三三九	二四、三〇一	二二七、三三九	一六八、九九九	一三三、四六〇

年	總收穫高對生 産米検査高%	總検査高對等級別%		總検査高對賣米小作米%		一人當平均 受檢高
		上	並	米	小作米	
三	四六	四〇	五六	四	五五	三、三六
二	六九	二二	七〇	八	四七	三、三一
元	五四	二二	六九	八	五一	三、三一
四十四年	五四	三三	六三	五	四七	三、三一
四十四年	五四	三七	五七	六	四三	三、三一
四十四年	六六	三七	五七	六	四三	三、三一

五、輸出米検査

米穀検査規則改正ノ結果新ニ任命シタル輸出米検査員ヲ各支所派出所ニ配置シ本所
監督及支所長ヲシテ検査及事務ヲ監督セシメ一面米商ニ就キ米ノ調製俵裝等ニ關シ
其可否得失ヲ品評説示シテ改良ノ促進ニ努メ仍テ以テ検査ノ厲行ト斯業ノ向上ヲ期
シタリ今左ニ最近五ケ年間ノ年度別輸出米検査高ヲ表示ス

最近五ケ年間輸出米検査高

年	輸出米検査高						計	不合格米
	一等米	二等米	三等米	四等米	等外米	米		
三	七六三八	一一五〇五四	五九二五七	四六、四一五	三、八六五	六九二、二二九	一、六〇二	
二	八五九六	六九五九二	四四七、九五二	一七、一四九	四七六、八二	五九〇、九七四	一、三五一	
元	二八六八	一四、七四〇	一四、五三六		二〇、一六五	七五二、六九九	四、五六三	
四十四年	八〇六、九五六					七九九、七三七	七、二一九	
四十三年	三四六、八九六					三四三、九五二	二、九四五	

其百分率

年	總收穫高 對輸出米 検査高%	等級別					生産米検査 高對輸出米 検査高%	輸出米検査高 對不合格米%
		一等米	二等米	三等米	四等米	等外米		
三	四五	一一二	一六六	七四八	六・七	〇六	三九	
二	三八	一・四	一一八	七六・五	二・九	七・二	五五	
元	二七	一・六	八・〇	七八・九		一〇・九	五〇	
四十四年	二七						五一	
四十三年	二三						三五	

備考 明治四十四年マテハ輸出米ヲ合格不合格ノ二等級ニ區別シ大正元年ヨリ四等級ニ大正二年ヨリ五等級ニ區分シタリ

六、諸規程ノ改正

大正三年四月十四日縣令第二十一號ヲ以テ晚稻作付制限ニ關スル件ヲ定メ同年四月十六日訓令乙第六十七號ヲ以テ米穀検査所職員服務心得及生産米検査員執務要項

ヲ定メ又同年四月十七日訓令甲第二十號ヲ以テ稻作改良ニ關スル訓令ヲ定メタリ
大正四年十月十三日告示第五百六十號ヲ以テ米穀検査標準米査定規則ノ一部ヲ改メ
亦大正四年三月三十一日米穀検査所規程ノ一部ヲ改メタリ

七、標準米ノ査定

生産米検査標準米ノ査定會ハ各郡役所ニ於テ左表ニ依リ之ヲ實施シ當日査定會ニ出席シタル生産米検査員ニ其標準米ヲ配付セリ
輸出米検査標準米ノ査定會ハ十一月二十日縣廳内ニ於テ開會シ査定材料トシテ蒐集シタル玄米九十三點白米三十三點ニ就キ慎重審査ノ結果玄米ハ各等級ヲ通シテ縣内ニ最モ廣ク普及セル龜ノ尾種及仙南地方ニ比較的の多ク普及セル愛國種ヲ標準米ニ査定シ白米標準米ト共ニ別表ノ如ク關係者ニ配付シタリ

米穀検査標準米査定會日割及會員

郡名	開會月日	會長		米穀検査所職員		郡農業技術員		郡農會役員		米前同業組合員	
		長	副	主	監	技	手	主	監	主	監
刈田	十一月十八日	刈田郡長		主事 北島善四郎	監督 本多重治	農業者 鈴木壯助	農業者 山田誠一	岩淵新助	山田利平	岩淵新助	山田利平
柴田	十一月十七日	柴田郡長		主事 北島善四郎	監督 本多重治	農業者 佐藤亨	農業者 大庭善助	岩淵新助	山田利平	岩淵新助	山田利平

郡名	開會月日	會長	米穀検査所職員	郡農業技術員	郡農會役員	米商同業組合員
伊具	十一月十六日	伊具郡長	主監督 北島善重	同 澁谷周藏	宮川兼藏	大藤啓之丞
亘理	十一月十六日	亘理郡長	主監督 藤井銀四郎	同 村山研	伊藤勘九郎	鈴木專儀
名取	十一月十四日	名取郡長	主監督 藤井銀四郎	同 山房治	佐藤運七郎	鈴木專儀
宮城	十一月十三日	宮城郡長	主監督 藤井銀四郎	同 菅原元吉	錦戶景訓	齋藤嘉吉
黒川	十一月十一日	黒川郡長	主監督 遊佐甲子郎	技手 中島甚太郎	堀籠牛兵衛	内海與市郎
加美	十一月六日	加美郡長	主監督 遊佐甲子郎	技手 青柳真雄	高橋養七	山口善三郎
志田	十一月五日	志田郡長	主監督 飯塚清三郎	同 丹野助七	三上直藏	笠原重吉
玉造	十一月七日	玉造郡長	主監督 飯塚清三郎	同 關口忠亮	豐嶋徳之助	小松安治
遠田	十一月九日	遠田郡長	主監督 飯塚清三郎	同 小野寺閣之允	安住仁次郎	伊藤又七郎
栗原	十一月十一日	栗原郡長	主監督 野久重吉	同 千葉泰治	菅原徳三郎	今野定五郎
登米	十一月九日	登米郡長	主監督 野久重吉	同 岩淵市右衛門	上野榮太郎	伊藤孝次郎
桃生	十一月六日	桃生郡長	主監督 木上多景	同 高橋靜	阿部嘉左衛門	菅野孝次郎
牡鹿	十一月七日	牡鹿郡長	主監督 木上多景	同 鹽谷信一	高田直三郎	宮田兵藏

郡別産米検査標準米査定表

郡市	査定材料	米ノ品種名	同上點數	上米標準	並米標準	
本吉	十一月十三日	本吉郡長	監督 木上多景	同 阿部徳兵衛	野村養作	小野寺兵一
刈田	東郷二號、白菊、豐後、近成、愛國、黒穂、岩賀、伊達早稻、最上白毛、白菊、龜ノ尾、柳子	三〇	東郷二號(村産)	柳子(村産)	柳子(村産)	
柴田	東郷二號、愛國、豊後、白菊	二二	東郷二號(町産)	愛國(村産)	愛國(村産)	
伊具	東郷二號、愛國、白菊、月布、白河	四一	愛國(村産)	愛國(村産)	愛國(村産)	
亘理	東郷二號、中生愛國、赤井山、松島赤毛、豊後、米澤白菊	一九	東郷二號(村産)	愛國(村産)	愛國(村産)	
名取	早稻愛國、白河、豊後、浦谷坊主、岩賀、紫龜ノ尾、月布、元祿	二九	白河(町産)	早稻愛國(村産)	早稻愛國(村産)	
宮城	白河、豊後、岩賀、紫、東郷二號、中生愛國、ネレズ、月布	三九	白河(村産)	豊後(村産)	豊後(村産)	
黒川	龜ノ尾、白河、紫、東郷二號、白菊、岩賀、月布、元祿、長香坊主、浦谷坊主	二五	白河(村産)	豊後(村産)	豊後(村産)	
加美	龜ノ尾、白菊、岩賀	二二	龜ノ尾(村産)	龜ノ尾(村産)	龜ノ尾(村産)	
志田	龜ノ尾、月布、烏海山坊主、東郷二號	二八	龜ノ尾(村産)	龜ノ尾(村産)	龜ノ尾(村産)	
玉造	龜ノ尾、東郷二號、豊後、月布、烏威	二三	龜ノ尾(村産)	龜ノ尾(村産)	龜ノ尾(村産)	

一、生産米検査高月別表

年度	四月		五月		六月		七月		八月		九月		十月		十一月	
	俵数	端米升量	俵数	端米升量	俵数	端米升量	俵数	端米升量	俵数	端米升量	俵数	端米升量	俵数	端米升量	俵数	端米升量
仙臺	458	300	76	280	27	280	64	258	258	87	817	487	487	487	487	487
刈田	159	150	115	150	40	40	81	81	89	459	459	459	459	459	459	459
柴田	404	300	244	244	80	350	95	117	163	980	1700	1700	1700	1700	1700	1700
伊具	631	600	173	173	142	142	117	117	117	117	117	117	117	117	117	117
亘理	2830	800	2434	2434	1048	1048	1878	1878	222	222	222	222	222	222	222	222
名取	2905	700	3099	3099	2101	2101	2889	2889	775	775	775	775	775	775	775	775
宮城	2007	200	1335	1335	579	579	160	160	350	350	350	350	350	350	350	350
黒川	2188	600	1721	1721	574	574	160	160	350	350	350	350	350	350	350	350
加美	2188	600	1721	1721	574	574	160	160	350	350	350	350	350	350	350	350
志田	1318	300	1080	1080	455	455	92	92	143	143	143	143	143	143	143	143
玉造	193	100	106	106	22	22	69	69	27	27	27	27	27	27	27	27
遠田	3934	200	3577	3577	771	771	1806	1806	383	383	383	383	383	383	383	383
栗原	1364	500	837	837	220	220	109	109	283	283	283	283	283	283	283	283
登米	3334	300	2753	2753	765	765	109	109	283	283	283	283	283	283	283	283
桃生	283	100	119	119	100	100	27	27	28	28	28	28	28	28	28	28
牡鹿	283	100	119	119	100	100	27	27	28	28	28	28	28	28	28	28
本吉	2791	100	2300	2300	955	955	1982	1982	57	57	57	57	57	57	57	57
合計	2791	100	2300	2300	955	955	1982	1982	57	57	57	57	57	57	57	57
二年度	3078	161	3763	3763	1698	1698	2304	2304	311	311	311	311	311	311	311	311
元年度	3683	175	4435	4435	2141	2141	2994	2994	366	366	366	366	366	366	366	366
四十四年度	2450	268	2566	2566	228	228	2237	2237	54	54	54	54	54	54	54	54

端米ノ個數ハ検査口數ヲ示シタルモノニシテ升量ノ末位ハ合ナリ検査成績表亦同シ

其
鐵道陸羽
各派出所

二、郡市別生産米検査成績表

郡市	検査数		上等米		並米		等外米		實種		小作		受入員
	俵数	端米升量	俵数	端米升量	俵数	端米升量	俵数	端米升量	俵数	端米升量	俵数	端米升量	
仙臺	一、〇六七	三三、四〇〇	三三、五	三〇〇五	七二八	三、〇一六	二〇六六	一四、〇五三	八七〇	四、五三〇	二七、六四〇	三、四〇二	四、五七三
刈田	三六、三四一	一四六、九〇七	一三、八七九	五三、二四四	二〇、三九六	七三、三三〇	二〇六六	一四、〇五三	八七〇	四、五三〇	二七、六四〇	三、四〇二	四、五七三
柴田	六一、九八三	九一、四四六	三二、八九〇	四八、二四九	三三、九三〇	三三、八七三	五一六三	九、一三五	一八、五七二	一〇、四六二	四三、四一一	八、〇四三	五、九二四
伊具	八〇、六八五	一九〇、七七一	四七、六〇三	九五、三五四	三〇、五四〇	八三、三四五	二、五四二	一一、九六〇	二六、二六	一一、五四七	五、四七五	一七、八二二	六、九四四
百理	七三、一八三	二一四、九八八	二〇、六七八	五二、二五九	四五、一四五	六六、六六	七、三六〇	一九、四九四	二九、三〇七	三七、四一六	四三、八七六	一七、八二二	六、三三三
名取	一四六、八〇九	三三三、三三三	八九、七二九	一七三、七三〇	五三、一六	一三四、八〇四	三、九六四	二二、三一一	七九、〇〇三	一六、五三三	六七、八〇六	一六、六九六	一六、七七九
宮城	一八四、四〇三	三三〇、五六三	八八、二二九	二二四、五六二	九二、三二〇	二〇六、九一九	三、八六四	一九、〇九二	九三、三三六	二二、〇八六	九一、〇一七	一五、四七七	二〇、三三二
黒川	八九、七九九	一四九、二五七	二二、五八五	二七、八四八	六三、八九〇	一〇八、四二六	四、三二四	八、七四三	五七、四九一	六八、六四二	三三、三〇八	二二、二四九	七、六〇一
加美	六一、八五一	一四九、二五七	一七、七七九	二六、四六五	三九、二〇六	三三、五八〇	四、八六七	三、五三〇	四〇、六〇二	二四、七八九	二二、二四九	八、一四三	三、九一一
志田	一五二、五五四	一八三、七六七	四三、三七三	四七、〇七五	九八、〇三三	一〇三、七二五	九、一五八	三三、四七〇	七二、三三二	七二、七九五	八、一四三	二〇、〇七六	一〇、四四三
遠田	一七六、三四九	一四三、三五六	一〇、〇九一	二五、八一〇	三二、八九〇	一〇三、七二五	五、二四	二、一〇九	二二、四二九	八、一九五	二〇、〇七六	二〇、〇七六	五、六九八
栗原	一三三、九三三	三三三、八七三	八二、五四一	五九、三一九	二四、五三三	二四、四二七	八、八四八	三、八、一七五	六五、四五四	一三、九二五	一一、〇八九	一一、〇八九	一八、三三一
登米	一五四、九七八	四四九、九六三	五四、六二二	一三三、三一九	九二、〇五六	二八九、八七〇	八、三〇〇	三三、七〇三	五三、六五八	一〇、八六一	一一、〇八九	一一、〇八九	一八、三三一
桃生	一三〇、五五一	一四六、八六六	一一、一一二	五〇、五九七	一〇、五、六三三	六〇、八八六	三、八一六	三六、〇六〇	一一〇、二六三	七六、九五五	一一、〇八九	一一、〇八九	一八、三三一
牡鹿	四四、二四八	一七二、二二〇	二二、四八五	七四、八六七	一八、九二七	八九、四〇〇	一、八三六	八、二六一	一四四、七五	四六、三九〇	二九、七七三	一一、五八三	五、四七一

柴田

村名	元年度		二年度		四十四年度	
	俵數	端米升量	俵數	端米升量	俵數	端米升量
宮岡	一、六四三	八、二三四	一、四三〇	一、一、四九七	三六、三四一	一、四、四三〇
村田	七、八四六	二、〇六〇	二、四〇四	一、〇九、四七四	一、四、四三〇	二、四、〇四二
沼邊	九、五〇二	六、〇〇三	一、八、九四三	一、〇九、四七四	一、八、九四三	二、四、〇四二
榎木	一、八九三	三、四、九八八	一、八、九四三	一、〇九、四七四	一、八、九四三	二、四、〇四二
船岡	八、一七四	五、〇四〇	一、八、九四三	一、〇九、四七四	一、八、九四三	二、四、〇四二
金夕瀬	五、八七一	一、九、二〇三	一、八、九四三	一、〇九、四七四	一、八、九四三	二、四、〇四二
大河原	九、〇八一	二、〇、七三三	一、八、九四三	一、〇九、四七四	一、八、九四三	二、四、〇四二
計	三六、三四一	一、四、四三〇	一、八、九四三	一、〇九、四七四	一、八、九四三	二、四、〇四二

刈田

村名	元年度		二年度		四十四年度	
	俵數	端米升量	俵數	端米升量	俵數	端米升量
宮岡	一、四一七	三、九七九	一、四一七	三、九七九	一、四一七	三、九七九
福岡	五、九八四	一、八、五七二	五、九八四	一、八、五七二	五、九八四	一、八、五七二
白石	五、五七九	一、八、五七二	五、五七九	一、八、五七二	五、五七九	一、八、五七二
計	一、四一七	三、九七九	一、四一七	三、九七九	一、四一七	三、九七九

三、市町村生産米検査成績表

年度	検査成績		上米		並米		等米		外米		賣種		小作別		受檢人員
	俵數	端米升量	俵數	端米升量	俵數	端米升量	俵數	端米升量	俵數	端米升量	俵數	端米升量	俵數	端米升量	
元年度	五、〇六〇	一、四、五九二	三、三三三	一、〇、七三三	一、七二七	五、八六二	一、〇、七三三	一、〇、七三三	一、〇、七三三	一、〇、七三三	一、〇、七三三	一、〇、七三三	一、〇、七三三	一、〇、七三三	一、〇、七三三
二年度	五、〇六〇	一、四、五九二	三、三三三	一、〇、七三三	一、七二七	五、八六二	一、〇、七三三	一、〇、七三三	一、〇、七三三	一、〇、七三三	一、〇、七三三	一、〇、七三三	一、〇、七三三	一、〇、七三三	一、〇、七三三
合計	一〇、一、二〇〇	二、九、一八四	六、六六六	二、一、四六六	三、四五四	一、一、五九四	二、一、四六六	二、一、四六六	二、一、四六六	二、一、四六六	二、一、四六六	二、一、四六六	二、一、四六六	二、一、四六六	二、一、四六六

伊具

Table for Iyugai region with columns for locations (川崎, 角田, 北郷, etc.), years (元年度, 二年度), and various metrics (検査, 上成, 並, 等外, 賣種, 小作, 人員).

巨理

Table for Iyurui region with columns for locations (藤尾, 東根, 大内, etc.), years (元年度, 二年度), and various metrics (検査, 上成, 並, 等外, 賣種, 小作, 人員).

遠田

Table with columns for locations (宮野, 築館, 玉澤, 藤里, 高清水, 清瀧, 宮澤, 長岡, 元年度, 二年度, 計, 南郷, 不動堂, 小牛田, 北浦, 中峰, 富永, 田尻) and rows for inspection metrics (検査数, 俵数, 端米升量, etc.).

玉造

Table with columns for locations (沼部, 大貫, 篤嶽, 元涌谷, 浦谷, 元年度, 二年度, 計, 鬼首, 温泉, 眞山, 一栗, 岩出山, 西大崎, 東大崎) and rows for inspection metrics (検査数, 俵数, 端米升量, etc.).

登米

Table with columns for locations (e.g., 上沼, 錦織, 米川, 米谷, 浅水, 登米, 豊里, 吉田, 米山, 南方, 北方, 佐酒) and rows for metrics (e.g., 元年度, 二年度, 計). It contains numerical data for various categories.

栗原

Table with columns for locations (e.g., 有賀, 大岡, 深邊, 津久毛, 金成, 萩野, 鳥矢崎, 岩ヶ崎, 栗駒, 文字, 尾松, 鷺澤, 花山, 金田, 長崎, 一追, 姫松, 富野) and rows for metrics (e.g., 元年度, 二年度, 計). It contains numerical data for various categories.

第三 輸出米檢查成績
一、輸出米檢查高月別表

合計	元年度		二年度		三年度		四十四年度		本吉	階上	松岩	新月	氣仙沼	大島	唐桑	鹿折	計
	元年度	二年度	元年度	二年度	元年度	二年度	元年度	二年度									
元年度	一五〇六〇〇〇	一五〇六〇〇〇	一五〇六〇〇〇	一五〇六〇〇〇	一五〇六〇〇〇	一五〇六〇〇〇	一五〇六〇〇〇	一五〇六〇〇〇	一〇四	五	一七	二七					
二年度	一五〇六〇〇〇	一五〇六〇〇〇	一五〇六〇〇〇	一五〇六〇〇〇	一五〇六〇〇〇	一五〇六〇〇〇	一五〇六〇〇〇	一五〇六〇〇〇	三〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇					
三年度	一五〇六〇〇〇	一五〇六〇〇〇	一五〇六〇〇〇	一五〇六〇〇〇	一五〇六〇〇〇	一五〇六〇〇〇	一五〇六〇〇〇	一五〇六〇〇〇	三〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇					
四十四年度	一五〇六〇〇〇	一五〇六〇〇〇	一五〇六〇〇〇	一五〇六〇〇〇	一五〇六〇〇〇	一五〇六〇〇〇	一五〇六〇〇〇	一五〇六〇〇〇	三〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇					

合計	元年度		二年度		三年度		四十四年度		本吉	階上	松岩	新月	氣仙沼	大島	唐桑	鹿折	計
	元年度	二年度	元年度	二年度	元年度	二年度	元年度	二年度									
元年度	一五〇六〇〇〇	一五〇六〇〇〇	一五〇六〇〇〇	一五〇六〇〇〇	一五〇六〇〇〇	一五〇六〇〇〇	一五〇六〇〇〇	一五〇六〇〇〇	一〇八四	二九	一七〇	二〇					
二年度	一五〇六〇〇〇	一五〇六〇〇〇	一五〇六〇〇〇	一五〇六〇〇〇	一五〇六〇〇〇	一五〇六〇〇〇	一五〇六〇〇〇	一五〇六〇〇〇	三〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇					
三年度	一五〇六〇〇〇	一五〇六〇〇〇	一五〇六〇〇〇	一五〇六〇〇〇	一五〇六〇〇〇	一五〇六〇〇〇	一五〇六〇〇〇	一五〇六〇〇〇	三〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇					
四十四年度	一五〇六〇〇〇	一五〇六〇〇〇	一五〇六〇〇〇	一五〇六〇〇〇	一五〇六〇〇〇	一五〇六〇〇〇	一五〇六〇〇〇	一五〇六〇〇〇	三〇〇	四〇〇	四〇〇	四〇〇					

二、輸出米檢查成績表

年度	計	白玄	檢查所名												
			鹿島臺	松山	小牛田	田尻	北浦	中新田	岩出山	池月	川渡	石越	瀨峯	新田	萩野
二年度	50,185	42,372	1,120	631	1,168	1,168	1,168	1,168	1,168	1,168	1,168	1,168	1,168	1,168	1,168
元年度	88,058	48,484	665	1,011	1,362	1,362	1,362	1,362	1,362	1,362	1,362	1,362	1,362	1,362	1,362
四十四年度	43,549	28,929	645	897	1,011	1,011	1,011	1,011	1,011	1,011	1,011	1,011	1,011	1,011	1,011

年度	計	白玄	檢查所名														
			仙臺	坂元	吉田	百理	岩沼	増田	長町	岩切	利府	鹽釜	松島	大河原	越河	白石	北白川
四年度	7,239	5,757	1,482	1,482	1,482	1,482	1,482	1,482	1,482	1,482	1,482	1,482	1,482	1,482	1,482		
五年度	1,599	999	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600	600		
六年度	4,994	3,711	1,283	1,283	1,283	1,283	1,283	1,283	1,283	1,283	1,283	1,283	1,283	1,283	1,283		
七年度	3,600	2,599	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000		
八年度	3,747	2,747	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000		
九年度	1,518	1,118	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400		
十年度	6,895	5,118	1,777	1,777	1,777	1,777	1,777	1,777	1,777	1,777	1,777	1,777	1,777	1,777	1,777		
十一度	7,307	5,999	1,308	1,308	1,308	1,308	1,308	1,308	1,308	1,308	1,308	1,308	1,308	1,308	1,308		
十二度	1,435	1,118	317	317	317	317	317	317	317	317	317	317	317	317	317		
一年度	9,447	7,118	2,329	2,329	2,329	2,329	2,329	2,329	2,329	2,329	2,329	2,329	2,329	2,329	2,329		
二年度	2,899	2,118	781	781	781	781	781	781	781	781	781	781	781	781	781		
三年度	5,400	4,118	1,282	1,282	1,282	1,282	1,282	1,282	1,282	1,282	1,282	1,282	1,282	1,282	1,282		
計	8,681	6,599	2,082	2,082	2,082	2,082	2,082	2,082	2,082	2,082	2,082	2,082	2,082	2,082	2,082		

仙臺	坂元	吉田	直理	岩沼	増田	長岡	岩手	利府	鹽釜	松島
四月										一、一六〇 八六
五月										八六八
六月										一、七四三 一六五
七月										一、六二〇 一四五
八月										一、二二六
九月										八五七
十月										一、〇三七
十一月										四、六〇三 八四
十二月										七、八六二 一一三
一月										八、六〇一 一七一
二月										四、七五七 三九
三月										二、五三四
計										三六、八六八 八〇三

五、米穀検査規則第十三條ニ依ル點檢高

松山	小田	田尻	北浦	中新	岩出	池月	川渡	石越	瀬峰	新田	萩野	石巻	計
四月													五九〇
五月													一、〇一八 六〇
六月													一、八七
七月													二九二
八月													
九月													
十月													
十一月													
十二月													
一月													
二月													
三月													
計													二〇八六 六一〇 二六九六

仙臺	坂元	吉田	巨沼	岩沼	増田	長岡	岩手	利府	鹽釜	松島	越前	白石	北川	槻木	大川	古川	鹿島
四月																	
五月																	
六月																	
七月																	
八月																	
九月																	
十月																	
十一月																	
十二月																	
一月																	
二月																	
三月																	
計																	

四、米穀検査規則第十一條第二項ニ依ル輸出米再検査高

東	神奈川	千葉	山梨	静岡	愛知	和歌山	大阪	兵庫	岡山	広島	茨城	埼玉	群馬	長野	栃木	福島	岩手	青森	山形	秋田	北海道	福井	福	カ	チ	ヤ	カ	計
二年度	一〇六、〇三五	二二、〇三〇	二、〇〇〇	六六、二五〇	五、四七九	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
元年度	二四八、五三三	六六、三六六	—	七六、〇一〇	一、四二七	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
四十四年度	三三四、五二二	八八、〇〇〇	—	五九、二八〇	二、〇二二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

検査所名	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月	計
仙臺													
坂元													
吉田													
巨沼													
岩沼													
増田													
長町													
岩切													
利府													
楡島													
松島													
越前													
大河													
白石													
北川													
槻木													
大内													
古川													
鹿島													
計	二、三六二	二、七九五	四、四〇〇	二、七五〇	一、二六一	一、二四八	一、六〇八	四、九六九	四、二〇〇	三、七六四	二、八三八	一、一六八	三、三三六三
萩野				三五六									四〇八
石巻													
錦織													

七、米穀検査規則第十七條ニ依ル點檢高

検査所名	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月	計
仙臺													
坂元													
吉田													
巨沼													
岩沼													
増田													
長町													
岩切													
利府													
楡島													
松島													
越前													
大河													
白石													
北川													
槻木													
大内													
古川													
鹿島													
計	一、七六三	一、四〇〇	四、七四一	六、九〇〇	七、三三三	七、九八三	三、八〇三	三、八五五	三、〇一三	八、四〇七	四、一二八	三、一九三	八六、九一七
萩野													九三三
石巻													
錦織													

検査所名	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月	計
松山													
小牛田													
田尻													
北浦													
中新田													
岩出山													
池月													
川渡													
石越													
瀬峯													
新田													
萩野													
石巻													
錦織													
計	四、五六九	三、一八四	一、六二六	一、一六三	一、二二六	一、〇七四	五、五三五	四、九〇七	三、七八五	八、五八六	四、三六七	四、三二二	二、一九八〇
萩野													八四三
石巻													一八〇
錦織													

八、違反者取締

本年度ニ於テ米穀検査規則及稻乾燥規則ニ違反シタル者左ノ如シ

検査所名	米穀検査規則	稻乾燥規則	検査所名	米穀検査規則	稻乾燥規則
古川			小牛田		
石越			計		
石巻					
計					

第四 農事ノ指導督勵成績
一、種粃品種別調査

三、苗代害蟲驅除成績表

農家總戶數	苗代總反別	誘火シタル 燧燧數	誘火シタル 夜數	採卵ニ從事シタル 兒童延人員	同上採卵數	同上捕蛾數									
							仙臺	刈田	柴田	伊具	亘理	名取	宮城	加美	志田
二二二	三町四反	八五	二〇	一	四七四七一七	八一三一九									
三、五六五	九六八	二、四三三	一八	九、六二三	四七四七一七	八一三一九									
三、三三〇	一〇、四	三、九四三	一一	一一、二〇二	四〇六八四九	八一三一九									
四、九四九	一三〇七	二、六〇〇	一一	九、一五四	四一八二三	三三三、九三									
三、三三四	一四八二	三、〇八八	一三	五、六〇六	二六六、三〇一	八、九、七六〇									
五、七〇七	一八一三	四、三〇九	一五	一八、三七七	七八八、七四〇	七、四〇、八三八									
六、七四五	二四三〇	五、三九〇	一一	三、四七八	一、四〇、一五二	八、七三、〇九〇									
三、〇九八	一五二八	三、七七六	一〇	六、一四八	一、七二、七六八	九、八、五五〇									
二、六二八	一六八八	一、七四一	一三	六、五二九	一、七二、七六八	二、八、六六二									
四、一七八	二四九二	三、四六一	一〇	三、五七三	一〇、八七一	九、一、六九三									
一、一九一	一一一七	一、〇三八	九	一、五五五	一、八七	四、八、二五									
五、〇四一	三五一六	三、一九七	一〇	二〇、六六五	七〇、七二〇	三〇、五、七九三									
一〇、〇五四	六、一六四	一、八、五〇七	一三	九、五六七	三〇、九九〇	二一、一、六三									
七、三三三	四八二五	二、七六一	〇	一七〇、七七	七、八七〇	二、七、三三									
五、九三一	三八五五	四、〇五一	〇	一七〇、七七	二、八	八、四、七八									
二、四一三	七八〇	一、五二五	五	一八〇	二八	一、一〇									
四、八三六	一〇六四	三、五四	五	四、四五七	八一七	二、八、二六一									
七、四四三	三、六〇七七	七、二三四	二	一、七八七、一六	三、七、七三、三〇五	四、七、五七、〇五七									

備考 本表ノ農家總戶數ハ苗代作農家ノミチ計上シタルモノナリ

四、早植及正條植實施成績

(百分率)

農家總戶數	總反作別	指定期間内ニ挿		指定期間後ニ挿		正條植トナシタルモノ		挿秧指定
		戸數	反別	戸數	反別	戸數	反別	
二二二	七町八反	五七・六	四・七	四二・四	三・八	七五・〇	六、月十五日	
三、六〇九	二、〇六一・九	二四・三	一一・一	七五・七	六・二九	五三・六	〃	
三、五五三	二、六七五・三	一七・二	一六・一	八二・八	八〇・二	八〇・〇	〃	
五、一四二	三、五九〇・七	四一・〇	四四・〇	五九・〇	七五・〇	六五・〇	〃	
三、三三四	三、〇七九・〇	三一・四	二七・五	六八・六	九八・二	九八・五	〃	
五、九五九	六、〇四一・五	二八・六	二八・七	七一・四	七七・六	七五・五	〃	
六、二五〇	七、四一一・九	八一・二	八四・八	一八・八	一五・二	九三・五	〃	
三、〇六一	四、〇九四・四	四四・二	三九・八	五五・八	六〇・二	七六・八	〃	
二、七七七	四、〇三六・八	六〇・〇	九四・〇	二四・〇	六〇・二	九三・〇	〃	
四、一七九	六、六九一・九	八三・三	八八・三	一六・八	一〇・一	九〇・一	〃	
一、九五八	二、四〇一・七	八三・三	七四・七	一六・八	二一・九	二六・六	〃	
五、〇六二	八、五七〇・八	六九・六	八〇・九	三〇・四	二五・三	六五・一	〃	
一〇、〇四三	一一、六六一・五	七七・八	八〇・九	二二・二	一九・一	五五・一	〃	
七、五七四	九、二二六・四	七・四	七三・二	二八・六	二六・八	五九・八	〃	
六、一六一	七、六五一・八	七八・七	八三・二	一一・三	一六・八	七四・〇	〃	
二、四四五	一、九二四・六	八九・六	九二・五	一〇・四	七・五	七八・九	〃	
四、八六五	二、三八二・五	八六・三	九一・〇	一三・七	九・〇	三六・五	〃	
七六、〇八一	八三、五八〇・五	六三・二	六六・六	三七八	六五・七	五八・四	〃	

五、苗代跡作實施成績

(百分率)

農家總戶數	苗代總反別	跡作ヲ實施シタルモノ		從來實施シ來レルモノ		本年初メテ實施シタルモノ	
		戶數	反別	戶數	反別	戶數	反別
仙臺	三、三〇〇	九六二	二九・五	二四・〇	九一・九	四三	六四
刈田	三、五六五	一九二	五・三	二〇・一	一七・九	六四	六二
柴田	四、九四九	一〇・四	二・一	一七・四	二〇・〇	一九	一八
伊具	三、三三四	一三〇・七	三九・九	七・二	二二・九	三八	二五
直理	五、七〇七	一八・三	一・八	一五・九	二・三	一一〇	七・八
名取	六、七四五	二四・三〇	一・七	一〇・八	一六・九	二二	二〇
宮城	三、〇九八	一五・二八	四・〇	二・〇	一〇・二	六三	五・九
加美	二、六二八	一六・八八	〇・八	〇・五	〇・七	二〇	〇・九
志田	四、一七八	二四・九二	四・八	一・一	〇・八	三七	三・二
玉造	一、一九一	一一・七	二・一	〇・〇	〇・六	二〇	一・〇
遠田	五、〇四一	三五・一六	二・七	〇・八	〇・六	一九	四・四
栗原	七、三三二	四八・二五	一・〇	九・九	一・三	〇・四	一・八
登米	五、九三一	三八・五	四・四	三・三	〇・九	一一	一・一
桃生	二、四一三	七・八〇	三・七〇	三・二	二七・三	四・五	三・八
牡鹿	四、八三六	一〇・六四	九・一一	八・九	八二・七	一・七	〇・八
本吉	四、八六五	二、三二五	二・九	四〇・七	八二・七	一〇	〇・八
合計	七四、四四三	三、六〇七・七	一七・九	一〇・一	一五・〇	二・九	二・四

備考 本表ノ農家總戶數ハ苗代作農家ノミチ計上シタルモノナリ

六、稻乾燥督勵成績

農家總戶數	稻作反別	架		掛		東		立		順		立		其		他	架掛	對ヌル	反別百ニ	
		戶數	反別	戶數	反別	戶數	反別	戶數	反別	戶數	反別	戶數	反別	戶數	反別					
仙臺	七七八	三、〇六六	一、八二〇・三	二二	二・三	二二〇	七五・五	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	三〇	九七・〇
刈田	二、〇六一・九	二、六七五・三	三、一一四	二、二七六	六九	三・一五	二六九・九	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	八八・〇	一一・〇
柴田	三、五九〇・七	五、一一一	三、五八八・二	九八	三・六〇	三二五	一一一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	八七・〇	一一・〇
伊具	七、〇七九・〇	二、五三三	二、二九六・六	三三三	三・三三	二五九・六	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	七四・〇	八・〇
直理	六、〇四一・五	三、三二一	一、〇三六・一	三三九	一・九七	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	一七〇	三・〇
名取	七、四一九・九	二、一五〇	一、九〇四	一、三三〇	一・三三〇	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	三〇〇	一・〇
宮城	四、〇九四・四	二、一五一	二、〇三三・八	一、五九三	一・五九三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	四八・〇	三・八
加美	四、〇三六・八	七〇一	二、二二一	一、八四六	三、〇五六・二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	四二・〇	二・〇
志田	六、六九一・九	二、〇三〇	一、五〇七・三	二、二二六	二、三三三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	四七・〇	三・〇
玉造	二、四〇一・七	三三〇	三三六・八	一、五九三	一、五九三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	三三・〇	一・〇
遠田	八、五七〇・八	一、七三七	九六五・三	三、五六八	五、〇四六・二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	四〇・〇	二・〇
栗原	一、〇四三・一	三、三三一	一、四九七・〇	七、八九四	七、九三三・五	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	三三・〇	一・〇
登米	九、二二六・四	五、四三三	三、四三三・五	四、八八八	四、三三六・三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	三三・〇	一・〇
桃生	七、六五一・八	四、一五二	四、二七三・四	二、六六一	二、六六六・六	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	三五・〇	一・〇
牡鹿	一、九二四・六	二、〇七七	一、四四〇・九	五五五	一七二・一	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	七五・〇	九・〇
本吉	二、三二五	四、八六三	二、三二五・〇	二	二九	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	九九・〇	一・〇
合計	七六、〇八一	四、七一一・八	三、三三〇・六	二、九六〇・三	三〇、五五〇・七	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二七〇	三・七〇

備考 本表ノ農家總戶數ハ稻作農家ノミチ計上シタルモノナリ

七、秋耕獎勵成績

農家總戶數	米作付總反別	秋耕實施總反別	牛馬耕二依リタルモノ	手耕二依リタルモノ	作付總反別百ニ對スル歩合
仙臺	二二	七七八	九〇〇〇	七〇〇〇〇	二・六
刈田	三、六〇九	二、〇六一・九	二〇八、四〇〇	一、五五二、〇〇〇	二・六
柴田	三、五五二	二、六七五・三	八七	五二二	七・四
伊具	五、一四二	三、五九〇・七	二七七	二、一三三、〇〇〇	八・三
直理	三、三二四	三、〇七九・〇	一三四	四二二、四〇〇	一一・三
名城	五、九五九	六、〇四一・五	一三三	五四二、〇二五	一一・六
加美	六、二五〇	一、七〇〇・六〇〇	七五六	一、四七〇	一〇・九
黒川	三、〇六一	四、〇九四・四	一、三九二、五六九・六三〇	二、六六七	二〇・一
志田	四、一七九	八、二五・八〇〇	二四二	六〇	五・三
遠田	一、九五八	二、四〇一・七	一八〇	二七	六・七
栗原	七、五七四	九、二二六・八	二九六	三三三	六・九
桃生	六、一六一	七、六五一・八	一八一	一、四六二	九・九
牡鹿	二、四五二	一、九二四・六	三三三	五、七四五	八・七
本吉	四、八六五	二、三三八・五	五九四	一、三三三	九・二
合計	七六、〇八一	八三、五八〇・五	六、〇二一、五七六・九〇〇	二六、七三四、二二五・八〇五	三六・二

備考 本表ノ農家總戶數ハ稻作農家ノミチ計上シタルモノナリ

八、儀裝材料製作指導獎勵成績

農家總戶數	儀ノ準備チナルモノ	手直シメタルモノ	備考
仙臺	二二	九四	
刈田	三、六〇九	七二	
柴田	三、五五三	三六九	
伊具	五、一四二	一一三	
直理	三、三二四	二六	
名城	五、九五九	二二	
加美	六、二五〇	八八	
黒川	三、〇六一	三九四	
志田	四、一七九	七八	
遠田	一、九五八	二二	
栗原	五、〇六二	三九	
登米	一、〇〇三	七四	
桃生	七、五七四	一、一七二	
牡鹿	六、一六一	六三三	
本吉	二、四五二	一三	
合計	七六、〇八一	四、四五一	

備考 本表ノ農家總戶數ハ稻作農家ノミチ計上シタルモノナリ

検査所名	標準秤量	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月	平均
百理	16,330	16,330	16,330	16,330	16,330	16,330	16,330	16,330	16,330	16,330	16,330	16,330	16,330	16,330
吉田	16,330	16,330	16,330	16,330	16,330	16,330	16,330	16,330	16,330	16,330	16,330	16,330	16,330	16,330
坂元	16,330	16,330	16,330	16,330	16,330	16,330	16,330	16,330	16,330	16,330	16,330	16,330	16,330	16,330
仙臺	16,330	16,330	16,330	16,330	16,330	16,330	16,330	16,330	16,330	16,330	16,330	16,330	16,330	16,330
平均	16,330	16,330	16,330	16,330	16,330	16,330	16,330	16,330	16,330	16,330	16,330	16,330	16,330	16,330

三ノ三、輸出玄米容量検査各月平均秤量調査表

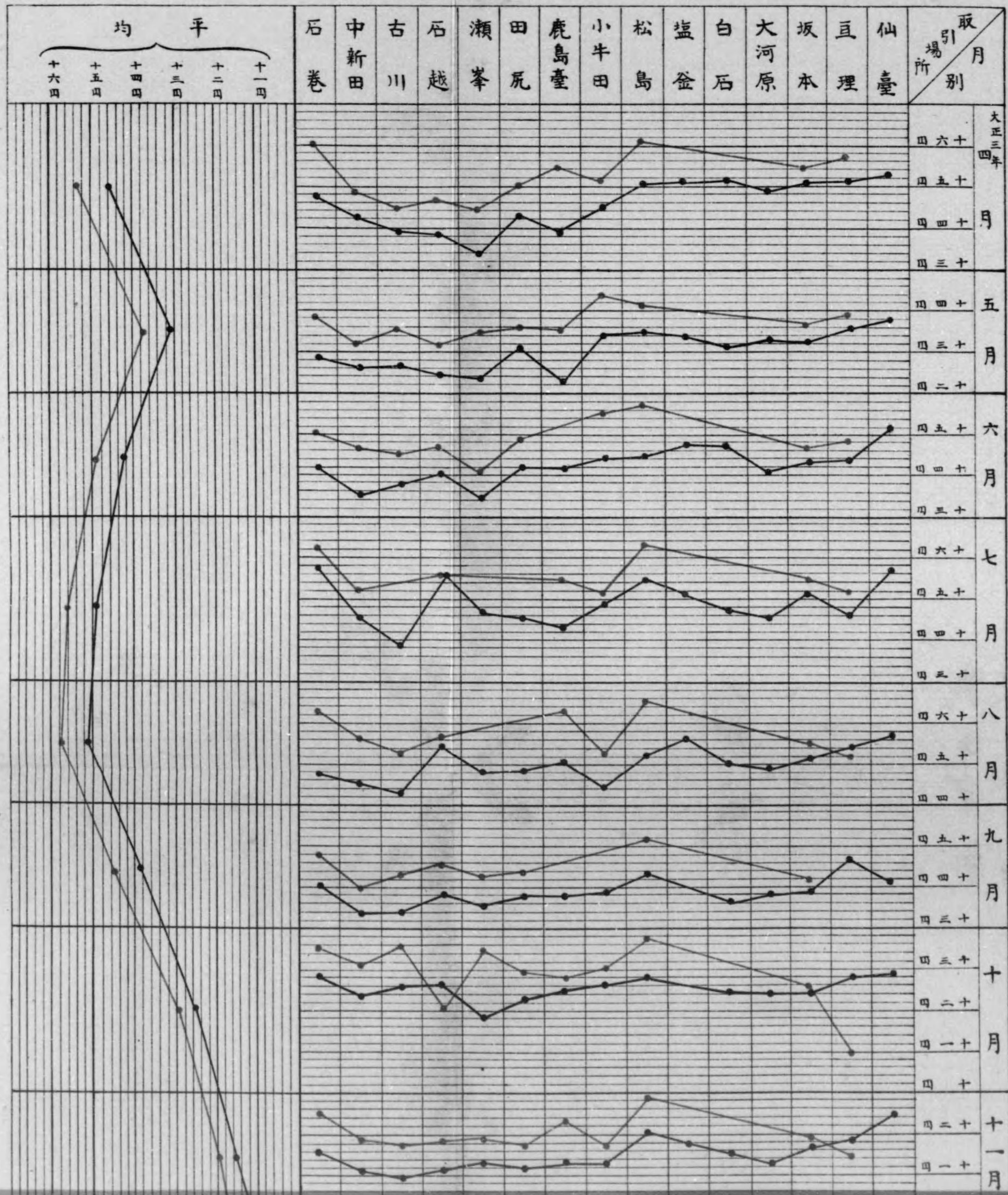
(四等米二重儀)

検査所名	標準秤量	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月	平均
田尻	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270
北浦	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270
中新田	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270
岩出山	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270
池月	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270
川渡	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270
石越	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270
瀨峯	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270
新田	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270
萩野	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270
石巻	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270
平均	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270	16,270

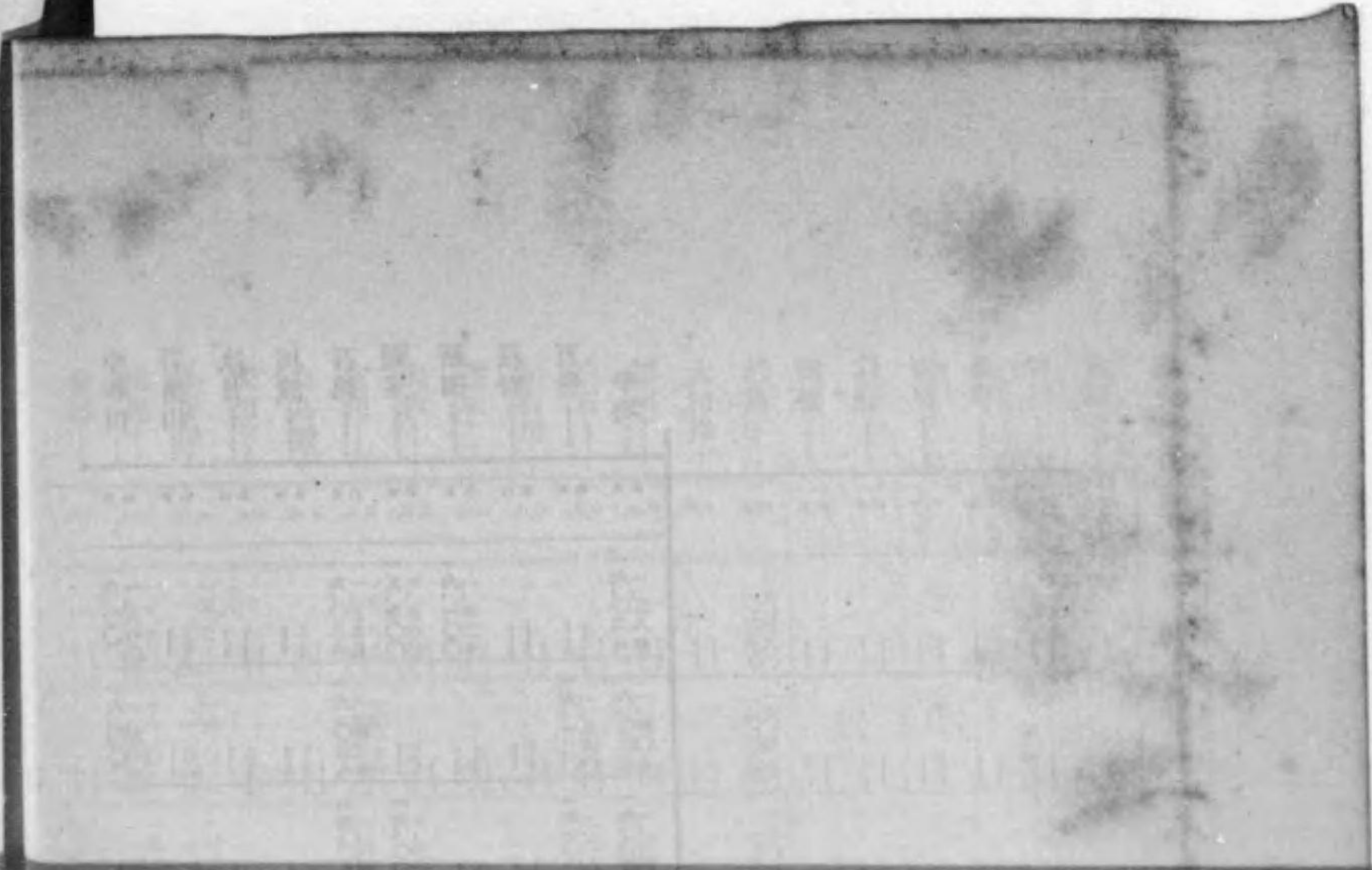
検査所名	標準秤量	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月	平均
百理	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550
岩沼	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550
増田	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550
長町	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550
岩切	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550
利府	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550
鹽釜	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550
松島	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550
大河原	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550
越河	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550
白石	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550
北白川	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550
槻木	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550
大内	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550
古川	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550
鹿島臺	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550
松山	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550
小牛田	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550
平均	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550	16,550

平均	石卷	萩野	新田	瀬峯	石越	川渡	池月	岩出山	中新田
一六、三〇二									一六、二〇〇
一六、四〇七	一六、二二〇				一六、四二五				一六、五〇三
一六、三〇四	一六、二〇〇			一六、三〇〇	一六、三〇九				
一六、三六八	一五、七五〇				一六、二八五				
一六、三〇八	一六、三〇〇				一六、二二五				
一六、三三六	一五、八六三				一六、二〇〇				
一六、三六六	一六、二七五			一六、四〇〇	一六、三〇〇				
一六、三六八	一六、三〇〇			一六、三〇〇	一六、三〇〇				
一六、四一三	一六、三七〇			一六、三〇〇	一六、五六一				一六、四一〇
一六、三三三	一六、三〇〇			一五、三〇〇	一六、二二五				
一六、四〇八				一五、三〇〇	一六、二二五				
一六、三七七	一六、一五〇			一五、九六〇	一六、三〇三				
一六、三九二	一六、三〇六			一五、三五五	一六、二〇六				一六、四二八

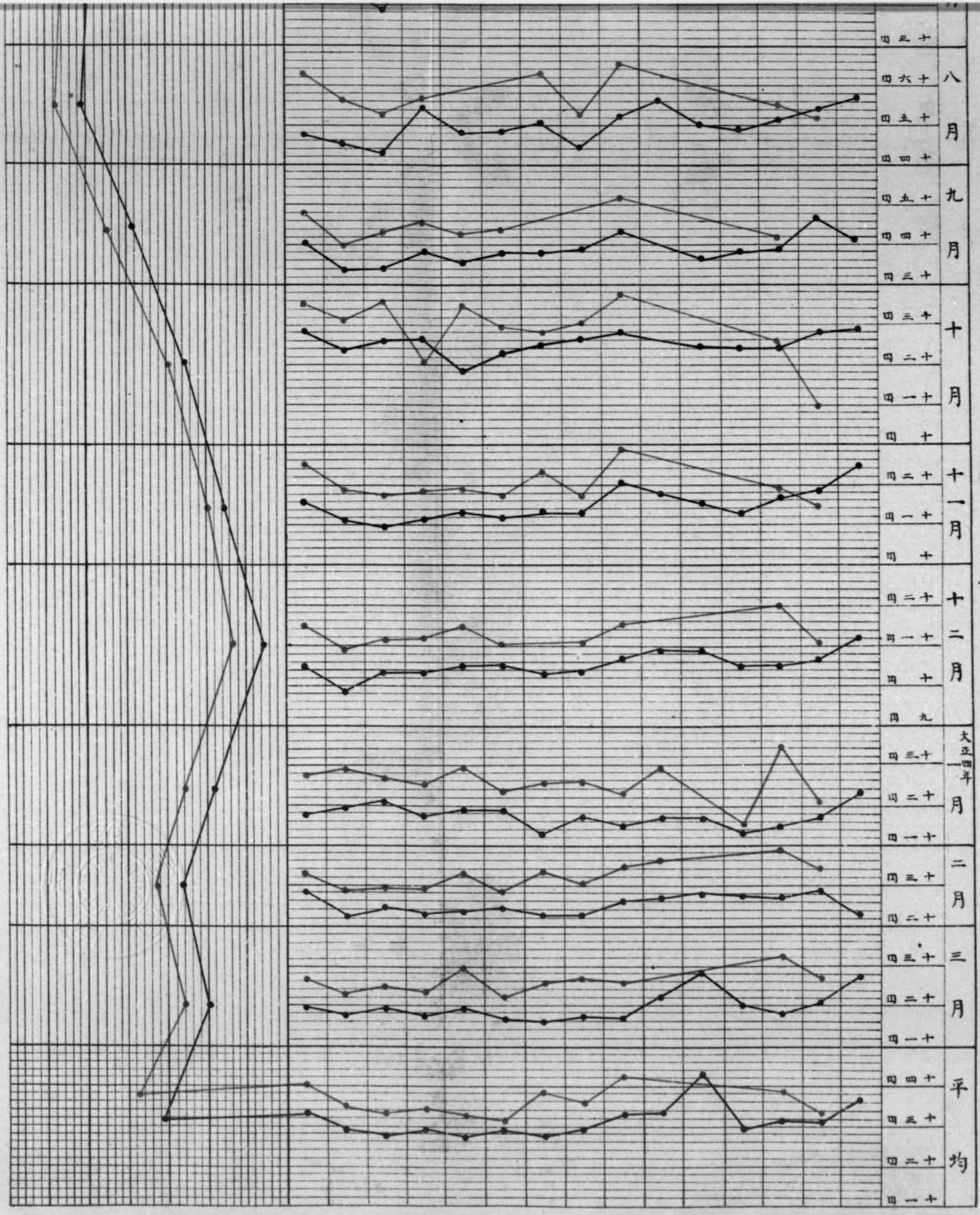
北浦	田尻	小牛田	松山	鹿島臺	古川	大内	槻木	北白川	白石	越河	大河原	松島	磯釜	利府	岩切	長町	増田	岩沼	検査所名
一五、九〇〇	一五、七五二				一五、七九〇							一六、三五六							四月
一六、四〇〇	一五、八〇一				一五、七四〇							一六、四八〇							五月
一五、八六〇	一五、九五三											一六、三三五							六月
一五、九〇〇	一六、四一〇																		七月
一五、七〇〇	一五、六五〇											一六、三三〇							八月
												一六、三三〇							九月
一六、四〇〇	一五、八〇〇				一五、三三〇														十月
一六、三〇〇																			十一月
一六、三三〇												一六、三三〇							十二月
一六、三九〇					一六、一〇〇							一六、四〇〇							一月
一六、四〇〇					一六、二六〇							一六、三三〇							二月
一六、四一〇					一六、三〇〇							一六、三五〇							三月
一六、三九二	一五、八五六				一五、九九〇							一六、三三七							平均



四 米價高低月別表



月別表



〰 〰
 ハ生産米ニシテ並米平均價格ヲ示ス
 ハ輸出米ニシテ三等米平均價格ヲ示ス

一、一〇〇	志田郡荒雄村	早坂 與兵衛	一四、三四九	遠田郡田尻町	今野 定五郎
一、三九六	同 敷玉村	遠藤 源吾	九、〇八八	同 同	中澤 直之助
四、九五六	同 高倉村	加藤 春治	七、九四三	同 同	佐々木 助五郎
二六、八四八	同 鹿島臺村	野田 盛	二、二一六	同 同	白山岩 浪治
一、七八五	同 同	千葉 芳男	二、一三六	同 同	青野 雄右衛門
一、四八三	同 同	高橋 健吾	三、五八八	同 沼部村	青木 健三
四、八一〇	玉造郡東大崎村	中鉢 繁三郎	二八、三〇〇	栗原郡築館町	伊藤 理吉
一、一九八	加美郡中新田町	中村 伊三郎	一三、二五六	同 同	佐藤 幸右衛門
六、九六三	同 同	笠原 重吉	二五、二〇〇	同 若柳町	佐藤 卯十郎
五、八七九	同 同	赤松 順藏	一四、一七一	同 同	千葉 昇平
一、二一〇	同 同	永山 勇治	一七、〇〇〇	同 同	菅原 熊七郎
一、〇八〇	同 同	板垣 清十郎	一六、八二三	同 同	熊谷 甚兵衛
一五、八八八	遠田郡不動堂村	齋藤 民助	六、五六一	同 同	佐々木 榮治郎
一、〇九九	同 同	松野 敬次郎	六、四四〇	同 同	三浦 榮作
五、五六五	同 涌谷町	砂金 善治	五、九九七	同 同	鈴木 萬藏
五、一二二	同 同	黒澤 勝次郎	五、一二六	同 同	佐々木 茂吉
二、六五一	同 同	長崎 清之助	二、五六五	同 同	三浦 東助
八、七八二	中坪村	佐々木 四郎右衛門	二、三八〇	同 同	三浦 積藏

二、〇九〇	栗原郡若柳町	小野寺 武三郎	一、三五六	登米郡佐沼町	片倉組佐沼支店
一、九一五	同 同	長谷川 初四郎	一七、三二〇	牡鹿郡石巻町	龜谷 榮助
一、七〇六	同 同	小野寺 清治	一四、八六三	同 同	和賀井 四郎
一、一二八	同 同	伊勢 文策	一一、一四九	同 同	宮城 兵藏
三、二五四	大岡村	片倉組支店	一〇、九六二	同 同	佐々木 傳兵衛
一九、二五〇	同 藤里村	遠藤 新吉	六、六七一	同 同	鶴田合資會社
八、八一三	同 同	田中 才太郎	五、四九四	牡鹿郡石巻町	松川 東兵衛
七、〇六〇	同 同	伊藤 善藏	三、九〇七	同 同	和賀井 長兵衛
二、四八〇	登米郡新田村	佐藤 秀五郎	二、六二四	同 同	福原 長松
六、九三〇	同 石越村	千葉 清左衛門	一、五七四	同 同	白鳥 喜七
三、九八六	登米郡佐沼町	高橋 周治	一、五二八	同 同	清水 常七
一、四二六	同 同	武川 寅藏	一、二二二	同 同	福原 七才
一、四二四	同 同	佐々木 和一郎			

七、米穀検査所費豫算 (大正三年度)

検査所費	四三、六四、〇〇〇	備	考
所	一人	年給	八百圓

松島派出所	(宮城郡高城村)	同	渡邊智重
大河原支所	(柴田郡大河原町)	支所長主事	箱崎宇之吉
大内派出所	(伊具郡大内村)	書記兼輸出米検査員	北畠善四郎
白石派出所	(刈田郡白石町)	臨時輸出米検査員	星藤兵衛
古川支所	(志田郡古川町)	臨時輸出米検査員(兼生産米検査員)	千葉準吾
鹿嶋臺派出所	(志田郡鹿嶋臺村)	臨時輸出米検査員	阿部喜久治
小牛田派出所	(遠田郡小牛田町)	支所長主事	津塚清通
中新田派出所	(志田郡志田村)	輸出米検査員	飯塚清敏
田尻派出所	(遠田郡沼部村)	支所長主事	山目新平
石越支所	(登米郡石越村)	書記兼輸出米検査員	澤木左衛門
新田派出所	(登米郡新田村)	臨時輸出米検査員	早坂賢藏
瀨峯派出所	(栗原郡藤里村)	臨時輸出米検査員	後藤彦次郎
萩野派出所	(同郡萩野村)	輸出米検査員	佐藤養之進
石巻支所	(牡鹿郡石巻町)	支所長主事	菊地武司
錦織派出所	(錦織村長ニ委任)	輸出米検査員	菅原逸平
米穀検査所	米穀検査員配置表	臨時輸出米検査員	丹野久吉
仙臺支所		書記兼輸出米検査員	阿部喜惣治
坂元派出所		輸出米検査員	
吉田派出所		臨時輸出米検査員	

七〇

石越支所	(登米郡石越村)	書記兼輸出米検査員	山崎嘉武
新田派出所	(登米郡新田村)	臨時輸出米検査員	香川愛和
瀨峯派出所	(栗原郡藤里村)	臨時輸出米検査員	太田兵治
萩野派出所	(同郡萩野村)	輸出米検査員	齋藤房治
石巻支所	(牡鹿郡石巻町)	支所長主事	田村正之助
錦織派出所	(錦織村長ニ委任)	輸出米検査員	石川常之助
米穀検査所	米穀検査員配置表	書記兼輸出米検査員	上田景安
仙臺支所		臨時輸出米検査員	木名瀬宏
坂元派出所		輸出米検査員	境守衛
吉田派出所		臨時輸出米検査員	千葉英記

(大正十四年三月三十一日現在)

七一

宮城郡 利府
同 鹽釜
同 多賀城
同 岩切
同 七北田
同 根白石
同 大澤
同 廣瀬
同 黒川郡 吉岡
同 大衡
同 吉田
同 宮床

板橋 重兵衛
舟野 龜吉
小野 長七
阿部 信之助
伊東 清之助
佐藤 勘十郎
殘間 文太郎
藤岡 虎之進
櫻井 小圓太
櫻田 盛
高澤 清助
佐藤 長重郎
佐藤 重吉
畑谷 邑吾
渡邊 善治
古跡 喜代助
鶴橋 平吉
淺野 直治

黒川郡 富谷
同 鶴巢
同 大谷
同 粕川
同 大松澤
同 落合
同 加美郡 中新田
同 色麻
同 鳴瀬
同 廣原
同 賀美石

櫻井 萬藏
◎青木 諭
文屋利惣右衛門
◎熊谷 雄之助
櫻井 要作
千葉 長太郎
櫻井 良藏
石川 信
◎佐藤 惣四郎
◎櫻井 養吉
大場 幸吉
◎猪股 惣三郎
◎田中 久右衛門
淺野 善七
◎千坂 恒藏
今野 茂利治
◎柳川 五三郎
鈴木 甚之丞

加美郡 賀美石
同 小野田
同 同
同 同
同 宮崎
同 志田郡 古川
同 同
同 荒雄
同 敷玉
同 同
同 下伊場野
同 松山
同 鹿島臺
同 同
同 三本木
同 同
同 高倉

◎今野 甚吉
佐々木 鐵治
伊藤 卯十郎
◎黒田 慎一郎
沼田 甚之丞
◎大泉 榮三郎
◎氏家 教治郎
◎伊藤 惣吉
瀬川 善四郎
◎大嶋 佐九郎
伊藤 貞三郎
◎佐藤 文太郎
◎高崎 延壽郎
◎横山 喜三郎
◎鹿野 金治
◎細川 仁也
◎伊東 林兵衛
佐々木 榮四郎

志田郡 高倉
同 志田
同 同
同 同
同 玉造郡 東大崎
同 同
同 西大崎
同 同
同 温泉
同 鬼首
同 一栗
同 同
同 真山
同 同
同 岩出山
同 遠田郡 元涌谷
同 同
同 寛岳

◎今野 五三郎
今野 久右衛門
渡邊 五兵衛
◎加藤 徳治
大場 兵太郎
◎佐々木 利惣太
安達 鶴松
◎佐々木 與吉
齋藤 徳治
大山 正之助
中川 文吉
◎佐藤 繁藏
◎高橋 善七郎
◎佐藤 貞松
宇和野 周也
◎宮城 圓輔
◎川口 琴治
藤村 傳之助

附 録
米穀検査令規

計	本吉	牡鹿	桃生	登米	栗原	遠田	玉造	志田	加美	黒川	宮城	名取	亘理	伊具	柴田	刈田	仙臺	
六級	10	1	2	4	2	3	0	0	4	0	5	5	1	8	4	4	5	2
七級	4	1	2	2	5	7	5	1	1	3	4	1	7	2	3	1	1	1
八級	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
九級	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
十級	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
十一級	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
十二級	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
十查員級補檢	7	1	3	9	0	3	0	4	7	5	4	1	5	3	3	1	2	1
計	33	17	23	29	29	43	25	21	18	33	25	22	33	30	29	29	31	1

生産米検査員郡市配置表

(大正十四年三月現在)

附 録
米穀検査令規

計	本吉	牡鹿	桃生	登米	栗原	遠田	玉造	志田	加美	黒川	宮城	名取	亘理	伊具	柴田	刈田	仙臺	
六級	104	1	2	4	1	0	0	4	0	5	5	1	8	4	4	5	2	1
七級	43	1	2	2	5	7	5	1	1	3	4	1	7	2	2	1	1	1
八級	2	1	1	-	-	1	1	1	1	1	-	-	-	-	5	2	4	1
九級	25	2	1	-	-	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
十級	14	8	-	1	1	2	1	-	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1
十一級	3	4	1	1	1	1	1	1	1	1	1	6	1	1	-	1	1	-
十二級	1	5	2	4	-	1	1	1	-	1	1	-	1	1	-	1	-	1
十查員級補	7	1	3	9	0	0	0	4	7	5	4	1	5	3	2	-	2	1
計	31	17	13	29	29	43	25	11	18	33	25	22	33	21	19	9	13	1

生産米検査員郡市配置表

(大正十四年三月現在)

米穀検査規則

(大正三年三月二十七日
縣令第十三號改正)

第一條 縣内產出米ニシテ賣買スルモノ又ハ小作米ニ供スルモノハ検査ヲ行フ縣外產出米ト雖左ノ各號ノ
一ニ該當スルモノハ縣内產出ノモノト看做ス

一、縣内ニ於テ改装シタルモノ

二、本縣輸出米検査施行地ヲ經テ輸送スルモノ但シ縣外ニ於テ汽車積ト爲シタルモノ及縣外產出米タルコトノ證明ヲ受ケタルモノハ此限リニ在ラス

第二條 検査ハ生産米検査、輸出米検査ノ二種トス

第三條 生産米検査ハ玄米ニ對シ生産者ノ毎戸ニ就キ之ヲ行フ

第四條 輸出米検査ハ縣外ニ輸出スル玄米及白米ニ對シ別ニ定ムル所ノ輸出米検査施行地ニ於テ之ヲ行フ但シ博覽會、共進會、品評會等ニ出品スルモノニシテ知事ノ許可ヲ得タルモノハ検査ヲ要セス

輸出米検査ニ合格シタル米ニアラサレハ縣外ニ輸出スルコトヲ得ス縣内ニ輸送スルモノト雖輸出米検査施行地ヲ通過スルモノハ縣外ニ輸出スルモノト看做ス

第五條 輸出米検査施行地ハ別ニ之ヲ告示ス

第六條 検査ハ時宜ニ依リ第三條及第四條一項ニ定メタル場所以外ノ地ニ於テ行フコトアルヘシ

第七條 検査ハ左ノ各號ニ就キ之ヲ行フ

一、形 質

二、乾

燥

三、色

澤

四、調製、搗精

五、容 量

六、俵 裝

第八條 生産米検査ハ別ニ定ムル標準米ニ據リ上、並、等外ノ三等級ニ、輸出米検査ハ合格不合格ニ區別シ合格米ハ別ニ定ムル標準米ニ據リ一等、二等、三等、四等及等外ノ五等級ニ區別ス

第九條 検査ヲ受クヘキ米ハ左ノ各號ニ據ルヘシ

- 一、乾燥ヲ充分ナラシムルコト
 - 二、品質粒形ノ異ナルモノ又ハ新米、古米、寒摺米、今摺米ヲ混合セザルコト
 - 三、粃、秕、細米、碎米、稗及土砂、塵埃等ヲ除去スルコト
 - 四、白米ハ精白ヲ齊一ニシ糠及夾雜物ヲ除去スルコト
 - 五、一俵ノ容量ハ四斗トスルコト但シ嶮路ヲ駄送スルモノ又ハ白米ニシテ他ノ包裝ト爲ス場合ハ此限リニアラス
 - 六、俵裝ハ別ニ定ムル俵裝標準ニ據リ二重俵ト爲スヘシ但シ左記各號ノ場合ハ素俵ト爲スコトヲ得
 - 一、船舶小舟ニ依リ近距離ヲ輸送スルモノヲ除クニ依ラスシテ縣内ニ輸送スルモノ
 - 二、鐵道又ハ船舶ニ依ラスシテ縣外隣接地ニ輸送スルモノ
- 鐵道又ハ船舶ニ依リ輸送スルモノハ別ニ定ムル俵裝標準ニ依リ總テ縱繩ヲ施スヘシ
- 第十條 生産米検査ヲ爲シタルモノニハ棧俵ニ左ノ證印ヲ押捺シ其側ノ藤繩ニ紙票ヲ附ス
- 端米ハ紙票ノ裏面ニ容量ヲ記入ス

(上) 徑 七 分

證 印

(並)



各邊六分五厘 朱 肉

(等外) 各邊七分

三寸四分

紙 票 一 寸 四 分

○ 宮城縣 郡市町村 生産者 検査票 證印

大正 年 月 日 検査員 生産米検査員認印

輸出米検査ヲ爲シタルモノニハ俵面ニ左ノ認印ヲ押捺シ合格シタルモノニハ藤繩ニ紙票ヲ附ス

證 印

一 等	徑三寸五分	肉色	黒
二 等	縱徑三寸五分 横徑二寸二分	同	同
三 等	各邊二寸三分	同	同
四 等	徑三寸	同	同
等 外	各邊三寸八分	同	同
不 合 格	各邊三寸五分	同	赤

三寸四分

輸出米検査員認印

紙 票 一 寸 四 分

○ 宮城縣 輸出米検査票 (一、二、三、四) 等米

大正 年 月 日 検査員

支所又ハ派出所印

一 等 白
二 等 青
三 等 赤
四 等 藤
等 外 黄

點檢ヲ爲シタルモノニハ俵面ニ左ノ證印ヲ押捺ス

證印 檢 徑二寸五分 肉色 赤

第十一條 檢査濟ノモノト雖俵裝毀損其他ノ事由ニ依リ改裝シタルトキ及證印ノ消滅シタルトキハ更ニ檢査ヲ受クヘシ

輸出米檢査ニ合格シタルモノト雖檢査後三ヶ月以上ヲ經過シタルトキハ再檢査ヲ受クヘシ

第十二條 檢査ヲ受ケタル者ハ紙票ニ自己ノ住所氏名ヲ記載シ當該檢査吏員ノ認印ヲ受ケ之ヲ俵内ニ挿入スヘシ但輸出米檢査ニ於テ不合格トナリタルモノニハ之ヲ省ク

第十三條 輸出米檢査施行地ヲ經テ輸送スル米ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ其俵數及仕向地ヲ其ノ都度檢査所ニ届出テ點檢ヲ受クヘシ

一、輸出米檢査濟又ハ點檢濟ノモノト雖一日荷卸ヲ爲シ更ニ輸送スルモノ

二、包裝シタル細米碎米又ハ「アラモト」

第十四條 輸出米檢査濟ノ玄米ヲ精白シ輸出セントスル者ハ其俵數ヲ檢査所ニ届出テ點檢ヲ受ケ精白後更ニ檢査ヲ受クヘシ其點檢及精白後ノ檢査ニツキテハ第十七條第二項第三項ヲ準用ス

前項點檢ヲ受ケタルモノト雖點檢後六ヶ月以上ヲ經過シタルトキハ再ヒ點檢ヲ受クヘシ

第十五條 檢査濟ノ米ト雖臨時點檢ヲ爲スコトアルヘシ

第十六條 檢査又ハ點檢ノ場合ニハ受檢者ハ檢査員ノ指揮ニ從ヒ現場ニ立會フヘシ若シ之ニ立會ハサルトキハ檢査員ハ隨時立會人ヲ指定シ之ヲ行フコトヲ得

第十七條 縣外產出米タルコトノ證明ヲ受ケントスル者ハ其ノ生産地、容量、俵數及仕向地ヲ點檢ヲ受クヘキ輸出米檢査所ニ届出ツヘシ

輸出米檢査所ニ於テ前項ノ點檢ヲ爲シタルトキハ點檢證ヲ交付ス

前項ニ依リ點檢ヲ受ケタルモノニシテ更ニ輸送セントスルトキハ其ノ俵數及仕向地ヲ記載シタル届書ニ曩ニ交付ヲ受ケタル點檢證ヲ添ヘ輸出米檢査所ニ届出テ點檢ヲ受クヘシ

朝鮮產、臺灣產及外國產ノ玄米ヲ精白シテ輸送スル場合ハ前各項ニ依リ點檢ヲ受クヘシ

第十八條 檢査ニ要シタル刺米ハ其都度之ヲ受檢者ニ還付ス

第十九條 檢査濟米ノ包裝ヲ解キタルモノハ直ニ其ノ檢査紙票ヲ破棄スヘシ

第二十條 檢査並點檢ノ證印アル俵ハ賣買又ハ小作料ニ供スル米ノ俵裝ニ使用スルコトヲ得ス但裏返ト爲シ使用スルハ此限ニアラス

第二十一條 米俵ニハ證印ニ類似ノ徽號ヲ附スルコトヲ得ス

第二十二條 輸出米檢査ヲ受ケタル者ハ檢査手數料ヲ納ムヘシ

輸出米檢査手數料ニ關スル規定ハ別ニ之ヲ定ム

第二十三條 輸出米檢査員ハ自己ノ利害ニ關係アル輸出米ヲ檢査又ハ點檢スルコトヲ得ス

第二十四條 米檢査員其職務ヲ行フトキハ左ノ證票ヲ携帶ス

表 第 (生産米又ハ) 輸出米) 檢査員證 職氏名

裏

縣印

横 三 寸 縦 二 寸

第二十五條 米ノ所有者又ハ運送業者ハ其代理人、家族、同居者、又ハ雇人其ノ他ノ從業者ニシテ本令ニ違背シタルトキハ自己ノ指揮ニ出テサルノ故ヲ以テ處罰ヲ免カル、コトヲ得ス

第二十六條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三十日以内ノ勾留又ハ貳拾圓以下ノ科料ニ處ス

- 一、米ノ所有者又ハ運送業者ニシテ第四條第二項ニ違反シタル者若ハ輸出米ノ検査ヲ免レントシタル者
- 二、検査又ハ點檢ヲ拒ミタル者
- 三、検査紙票ヲ不正ニ使用シタル者
- 四、賣買又ハ小作料ニ供スル米又ハ其俵ニ濕氣ヲ施シ若ハ他ノ物料ヲ混入シ其ノ他不正ノ手段ヲ以テ枳量斤量ヲ増減シタル者

第二十七條 左ノ各號ノ一ニ該當シタル者ハ貳拾圓以下ノ科料ニ處ス

- 一、生産米検査ヲ受サル米ヲ賣買シ又ハ小作料トシテ授受シタル者
- 二、再検査ヲ免レ又ハ免レントシタル者
- 三、米ノ所有者又ハ運送業者ニシテ第十三條ニ違反シタル者
- 四、第十六條第十九條乃至第二十一條ニ違反シタル者

米穀検査施行手續

(明治四十一年五月三十日訓令甲第二十八號 大正三年三月二十七日訓令甲第十一號改正)

大正三年三月二十七日訓令甲第十一號改正

第一條 生産米検査ハ米ノ所在地ニ就キ之ヲ行フヲ常例トス 産米ニ就テハ可成調製中其場所ニ臨ミ輸出米検査ニ合格スル様鄭寧ニ調製セシムヘシ

同上

俵裝ハ可成俵ノ製作中若クハ製作前ヨリ充分ニ指導シ俵裝標準ニ適合セシムヘシ
第二條 輸出米検査ハ米穀検査支所又ハ派出所ニ於テ行フヲ常例トスト雖時宜ニ依リ附近ノ倉庫、店頭、停車場、河岸等ニ於テスル等可成受檢人ノ便宜ト事務ノ簡捷ヲ期スヘシ

同上

第三條 検査員検査ヲ行フトキハ必ス證票ヲ携帶シ受檢人ヨリ證票ノ閱覽ヲ求メタルトキハ之ヲ提示スヘシ
第四條 生産米ヲ検査スル検査員ハ手簿(第一號樣式)ヲ携帶スヘシ 生産米検査ヲ行ヒタルトキハ遲滞ナク検査手簿ニ詳記スヘシ

同上

第五條 米穀検査支所及派出所ニハ左ノ帳簿ヲ備フヘシ
一、輸出米検査簿 第二號樣式
二、再検査簿 第三號樣式
三、點檢簿 第四號樣式
四、容量検査簿 第六號樣式

第六條 検査ハ左ノ順序ニ依リ執行スヘシ
一、俵數 二、俵裝 三、米質、調製、搗精 四、容量
俵數ハ之ヲ點檢シ俵裝ハ俵裝標準ニ米質、調製、搗精ハ標準米ニ照シ検査スヘシ容量ヲ検査スルニハ五十俵未滿ハ五俵以内五十俵以上五十俵ヲ増ス毎ニ二俵ヲ加ヘタル俵數ヲ枳量及秤量シ其平均ニ依リ四斗俵

同 上
 一俵ニ對スル重量ヲ定メ其量目以上ノモノヲ合格トス
 第七條 米検査規則第十三條及第十八條第一項ニ依リ點檢ノ申出アリタルトキハ之ヲ調査シ點檢證(第五號樣式)ヲ交付スヘシ

第八條 検査ノ際尙改良ノ餘地アリト認ムルモノハ受檢人ニ其缺點ヲ指示シ一應再製ヲ促スヘシ

第九條 検査員必要ト認メタルトキハ検査又ハ點檢濟ノ米ニ對シ再検査又ハ點檢ヲ行フヘシ
 前項検査又ハ點檢ノ成績ハ米穀検査所長(支所々屬ハ支所長ヲ經テ)報告スヘシ

第十條 検査員ニ於テ犯則者ヲ認メ告發セントスル時ハ充分ニ證據ヲ蒐集シ米穀検査所長(支所々屬ハ支所長ヲ經テ)ノ承認ヲ受ケ其手續ヲ爲スヘシ但急ヲ要スル場合ハ直ニ告發シ即時米穀検査所長(支所々屬ハ支所長ヲ經テ)ニ報告スヘシ

第十一條 生産米ヲ検査スル検査員ハ月末マテノ産米検査手簿ヲ每翌月一日所屬支所長ニ送致スヘシ

輸出米ヲ検査スル検査員ハ其検査成績ハ第二號樣式ニ再検査ヲ爲シタルモノハ第三號樣式ニ輸送米點檢ヲ爲シタルモノハ第四號樣式ニ準シ調査製表シ每翌月一日所屬支所長ニ報告スヘシ

支所長ハ送致ヲ受ケタル産米検査ノ手簿ニ依リ産米検査成績ヲ第一號樣式ニ準シ調査製表シ其月十日マテ輸出米検査成績ハ第二號樣式ニ再検査成績ハ第三號樣式ニ輸送米點檢成績ハ第四號樣式ニ準シ調査製表シ其月五日マテ米穀検査所長ニ報告スヘシ

附 則

一 本令ハ明治四十一年七月一日ヨリ施行ス

明治四十一年八月廿八日訓令第一一七號及第三號
 大正十一年三月七日訓令第一一七號
 改正
 同 上
 同 上

二 明治三十九年十月訓令第二十三號米検査施行手續ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス
 第一號樣式

大正 年 月 自 日 産米検査手簿

検査月日	検査俵數	成	種	米検査員 氏 名
		上	並 等 外 賣 米 小作米	受檢人住所氏名

備考 支所長ヨリ所長ニ報告スル産米検査成績ハ此樣式ニ準シ検査月日欄ヲ市町村名トシ受檢人住所氏名欄ヲ受檢人員トシ欄外自 日ヲ分トシ手簿ヲ成績報告トシ米検査員名ヲ検査所何々支所トス

第二號樣式

輸出米検査簿

申請検査月日	検査俵數	合格俵數	不合格俵數	仕向地	申請者
月日	一等 二等 三等 四等 等外	計	計	住 所	氏 名

備考 糯米ハ朱書スヘシ輸出米検査成績報告ハ此樣式ニ準シ申請月日ノ欄ヲ検査地名トシ申請者住所氏名ノ欄ヲ申請人員トシ仕向地別ニ調査製表スヘシ

第三號樣式

大正三年三月二十七日訓令第一一七號及第三號
 改正
 大正元年十二月十八日訓令第六號
 以テ改正

米穀検査規則第十一條ニ依ル再検査簿

検査月日	検査俵数	合格俵数	不合格俵数	受檢所氏名

備考 再検査成績報告ハ此様式ニ準シ月日ノ欄ヲ検査地名トシ受檢人住所氏名ノ欄ヲ受檢人員トシ検査事由別ニ調査製表スヘシ

第四號様式

點檢簿

月日	俵數及容量	産地又ハ検査所名	仕向地	備考	住荷所氏名

備考 輸送米點檢報告ハ此様式ニ準シ月日ノ欄ヲ検査地名トシ荷主ノ住所氏名欄ヲ輸送人員トシ米穀検査規則第十三條第十四條第十七條ノ事由毎ニ調査製表スヘシ

第五號様式

輸出米検査済米(縣外産出米)點檢證

検査員認印

大正 年 月 日 點檢 検査員 認印

輸出米検査済米(縣外産出米)點檢證

支所又ハ派出所印

荷主	
俵數	(何斗入)
生産地又ハ検査地	
仕向地	
摘要	

第六號様式

検査月日	検査月日	毎一口検査俵數	秤量	平均	秤量	平均	風量	平均	丁概一俵ノ秤量	平均即標	受檢人員

玄米俵裝標準

(四十一年五月三十日)
告示第二百六十八號

内俵	材料	乾燥シタル「スグリ」古藁
編	繩	細繩九尋乃至十尋
編	所	四ヶ所
封	間	中央七寸其他六寸
目	方	五百五十匁乃至六百五十匁
編	上	三尺八寸
外俵	材料	乾燥シタル「スグリ」藁
編	繩	細繩十尋
編	所	四ヶ所
封	間	中央七寸其他六寸
目	方	三百匁乃至四百匁
編	上	四尺

大正七年十月十八日告示第八號
四月一日改訂
正以テ

同 上
材料 乾燥シタル「スグリ」古藁
直径 一尺乃至一尺一寸
目方 一個八十匁乃至百匁
俵裝用繩
横繩及「カガリ」繩ハ能ク打柔ケタル藁ヲ以テ綯ヒタル中繩(九分以上)
縦繩ハ充分打柔ケタル藁ヲ以テ綯ヒタル摺掛太繩(一寸三分以上)
俵裝仕様
内俵ノ小口「カガリ」ハ三封ツ、八ヶ所ヲスクヒ菰ノ兩端ヲ打込ミタル上ニ棧俵ヲ當テ桔梗形ニ「カガル」
ヘシ

同 上
外俵ノ小口「カガリ」ハ目通シ十二ヶ所以上ヲ「スクヒ」菊形止メニ緊括スヘシ
横繩ハ五ヶ所中央ヲ三廻リ其他ヲ各二廻リトシ俵ノ中央ヲ稍細ク緊結スヘシ但二重俵ノ内俵ハ三ヶ所結
トナスモ妨ナシ縦繩ハ一筋ヲ以テ四方掛クトス各横繩ニ引掛ケ充分ニ緊縛スヘシ

輸出米検査施行地及輸出米検査所名並検査所ノ位置

(大正三年三月十一日)
告示第百六十九號改正

輸出入検査施行地	輸出入米検査所名	位置
仙臺停車場	宮城縣米穀検査所仙臺支所	仙臺市
亶理郡坂元村坂元	宮城縣米穀検査所坂元派出所	亶理郡坂元村坂元

大正三年十一月十日
告示第九十號
池北浦以
所追加
三ヶ川

吉田停車場	宮城縣米穀檢查所吉田派出所	吉田停車場前
亘理停車場	宮城縣米穀檢查所亘理派出所	亘理停車場前
岩沼停車場	宮城縣米穀檢查所岩沼派出所	岩沼停車場前
増田停車場	宮城縣米穀檢查所増田派出所	増田停車場前
長町停車場	宮城縣米穀檢查所長町派出所	長町停車場前
岩切停車場	宮城縣米穀檢查所岩切派出所	岩切停車場前
利府停車場	宮城縣米穀檢查所利府派出所	利府停車場前
鹽釜停車場鹽釜港	宮城縣米穀檢查所鹽釜派出所	宮城郡鹽釜町
松島停車場松島村高城	宮城縣米穀檢查所松嶋派出所	宮城郡松嶋村
大河原停車場	宮城縣米穀檢查所大河原支所	柴田郡大河原町
越河停車場	宮城縣米穀檢查所越河派出所	越河停車場前
白石停車場	宮城縣米穀檢查所白石派出所	白石停車場前
北白川停車場	宮城縣米穀檢查所北白川派出所	北白川停車場前
槻木停車場	宮城縣米穀檢查所槻木派出所	槻木停車場前
伊具郡大内村大内	宮城縣米穀檢查所大内派出所	伊具郡大内村大内
古川停車場	宮城縣米穀檢查所古川支所	志田郡古川町
鹿島臺停車場	宮城縣米穀檢查所鹿島臺派出所	鹿島臺停車場前

松山町停車場	宮城縣米穀檢查所松山派出所	松山町停車場前
小牛田停車場	宮城縣米穀檢查所小牛田派出所	小牛田停車場前
田尻停車場	宮城縣米穀檢查所田尻派出所	田尻停車場前
中新田停車場	宮城縣米穀檢查所中新田派出所	中新田停車場前
岩出山停車場	宮城縣米穀檢查所岩出山派出所	岩出山停車場前
北浦停車場	宮城縣米穀檢查所北浦派出所	北浦停車場前
池月停車場	宮城縣米穀檢查所池月派出所	池月停車場前
川渡停車場	宮城縣米穀檢查所川渡派出所	川渡停車場前
石越停車場	宮城縣米穀檢查所石越支所	登米郡石越村
瀬峰停車場	宮城縣米穀檢查所瀬峰派出所	瀬峰停車場前
新田停車場	宮城縣米穀檢查所新田派出所	新田停車場前
栗原郡萩野村有馬	宮城縣米穀檢查所萩野派出所	栗原郡萩野村有馬
牡鹿郡石巻河港	宮城縣米穀檢查所石巻支所	牡鹿郡石巻町
登米郡錦織村西郡(縣外產出米ノ點檢ノミヲ行フ)	宮城縣米穀檢查所錦織派出所	登米郡錦織村西郡

米穀檢查所同支所及派出所位置並管轄區域

(大正三年三月十一日
告示第百六十八號改正)

何地縣支金庫團
何町村收入役氏名宛

金庫又ハ
收入役印

米 檢 査 申 請 票

申請年月日	大正 年 月 日
債 數	債
手 數 料 額	金 ○金庫又ハ町村役場 取扱者印
納 入 年 月 日	大正 年 月 日
手數料ヲ印入シタル 縣支金庫又ハ役場名	
申請者 氏 名	

備考 本票各欄ノ記入ハ手數料ヲ領收スル縣支金庫又ハ町村役場ニ於テ爲スモノトス

米 檢 査 手 數 料 徵 收 手 續

(四十二年六月十七日)
訓令甲第三十號

大正三年
三月三十日
訓令
甲第十六號
改正ス

- 第一條 縣支金庫又ハ町村役場ニ於テ米檢査手數料ヲ收納シタルトキハ納入濟通知書ヲ取纏メ縣支金庫ニ在リテハ毎日町村役場ニアリテハ翌月三日(十二月分ハ翌年一月六日)マテニ縣廳内ノ縣支金庫ハ知事其他ハ郡長ニ差出スヘシ
- 第二條 郡長ト前條納入濟通知書ヲ受ケタルトキハ其郡度米檢査手數料ヲ調定スヘシ

- 第三條 町村役場ニ於テ收納シタル手數料ハ翌月三日(十二月分ハ翌年一月六日)迄ニ納入書ヲ添ヘ之ヲ縣支金庫ニ拂込ムヘシ但收納シタル金額參百圓以上ニ及フトキハ本文ノ期日ニ拘ハラス其郡度拂込ムヘシ
- 第四條 米穀檢査所同支所及輸出米穀檢査出所ニ於テ米檢査申請票ヲ受ケタルトキハ翌月三日(十二月分ハ翌年一月六日)マテ縣廳内ノ縣支金庫ニ於テ手數料ヲ收納シタルモノニアリテハ知事其他ハ手數料ヲ收納シタル縣支金庫又ハ町村役場所屬ノ郡長ニ送付スヘシ
- 第五條 郡長ハ前條米檢査申請票ノ送付ヲ受ケタルトキハ第一條ノ納入濟通知書ニ對照シ若シ符合セサルモノアルトキハ適宜ノ方法ニ依リ之ヲ調シ置キ次回ノ納入濟通知書又ハ檢査申請票ニ照台スヘシ

附 則

本令ハ大正三年度所屬ノ收入ヨリ之ヲ施行ス

米 檢 査 手 數 料 徵 收 費 交 付 規 程

(明治四十三年四月十二日)
訓令甲第十號

- 第一條 米檢査手數料規則ニ依リ町村役場ニ於テ徵收シタル米檢査手數料ニ對シ徵收費トシテ徵收金額ノ百分ノ一ヲ其ノ町村ニ交付ス
- 第二條 前條ノ交付金ハ左ノ二期ニ分チ町村ニ於テ縣金庫ニ納入シタル額ニ依リ之ヲ交付ス
 - 第一期 四月ヨリ九月迄
 - 第二期 十月ヨリ三月迄
- 第三條 郡長ハ毎年度徵收金交付金額ヲ取調左記書式ニ依リ第一期分ハ十月二十日第二期分ハ四月二十日迄ニ知事ニ報告スヘシ

大正何年度米検査手数料至何年四(十)月徵收交付金報告

(書式) 大正何年度米検査手数料至何年九(三)月徵收交付金報告

町村名	徵收額	百分ノ一交付金	備考
計			
縣金庫直接收入			
合計			

米穀検査所規程

(大正三年三月十一日) 告示第百六十七號

第一條 米穀検査所ハ内務部ニ屬シ米穀ノ検査及農事ノ改良ニ關スル事務ヲ掌ル

第二條 米穀検査所ニ左ノ職員ヲ置ク

- 所長 一名
- 技師 一名
- 監督 三名
- 主事 五名
- 出輸米穀検査員 若干名
- 書記 若干名
- 生産米検査員 若干名
- 生産米検査員補 若干名

大正四年三月三十一日告示第百四十二號ヲ以テ改正

同上

- 前項職員ノ外必要ニ應シ臨時輸出米検査員ヲ置クコトヲ得
- 第三條 所長、監督、主事、輸出米検査員及書記ハ縣吏員トス
- 第四條 所長ハ知事ノ命ヲ承ケ部下ノ職員ヲ指揮監督シ所務ヲ統理ス
- 第五條 技師ハ所長ノ命ヲ承ケ技術ニ關スル主要ノ事務ニ從事ス
- 第六條 監督ハ所長ノ指揮ヲ承ケ米穀検査及農事ノ改良ニ關スル事務ヲ監督シ兼テ米穀検査ヲ行フ
- 第七條 縣内樞要ト認ムル地ニ米穀検査支所及派出所ヲ置ク
- 第八條 米穀検査支所ニ支所長ヲ置キ主事ヲ以テ之ニ充ツ
- 第九條 支所長ハ所長ノ指揮ヲ承ケ其所管内ノ職員ヲ指揮監督シ米穀検査及農事ノ改良ニ關スル事務ヲ掌理ス
- 第十條 輸出米検査員ハ上司ノ指揮ヲ承ケ輸出米検査及農事ノ改良ニ關スル事務ニ從事ス
- 第十一條 書記ハ所長又ハ支所長ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス
- 第十二條 生産米検査員及生産米検査員補ハ上司ノ命ヲ承ケ生産米ノ検査及農事ノ改良ニ關スル事務ニ從事ス

事ス

米穀検査所處務規程

(大正三年三月十一日訓令甲第七號改正)

- 第一條 米穀検査所ニ於テ掌理スヘキ事項左ノ如シ
 - 一 米穀ノ検査及農事改良督勵ニ關スル件
 - 二 検査標準米査定配付ニ關スル件
 - 三 産米改良功績者調査表彰ニ關スル件
 - 四 無検査米取締ニ關スル件
 - 五 米穀ノ市況調査ニ關スル件
 - 六 外國米及縣外産米輸出入調査ニ關スル件
 - 七 検査成績書ノ編成及統計報告ニ關スル件
- 第二條 所長及支所長ハ左ノ事項ヲ專決執行スルコトヲ得
- 一 職員ノ處務分掌ニ關スル件
 - 二 職員ノ縣内(支所長ハ其所管内)出張ニ關スル件
 - 三 職員ノ諸届ニ關スル件
 - 四 管掌事務ニ關スル諸報告ヲ處理スル件
 - 五 小使入夫備入及解備ニ關スル件

前項專決執行シタル事項ハ翌月五日限り知事(支所長ハ所長ヲ經)ニ報告スヘシ但シ急ヲ要スルモノハ其ノ都度報告スヘシ

- 第三條 所長又ハ支所長事故アルトキハ次席職員其事務ヲ代理ス
- 第四條 所長及支所長ハ管掌事務ニ關シ所名又ハ其職名ヲ以テ文書ノ往復ヲ爲スコトヲ得但シ支所長ハ縣内ニ限ル
- 第五條 米穀検査所同支所及派出所ニハ左ノ簿冊ヲ備ヘ置クヘシ
- 一 出勤簿
- 二 日誌
- 三 職員名簿(派出所ニハ之ヲ除ク)
- 四 職員履歷書(支所及派出所ニハ之ヲ除ク)
- 五 出張命令簿(派出所ニハ之ヲ除ク)
- 六 文書收發件名簿
- 七 生産米検査成績簿(派出所ニハ之ヲ除ク)
- 八 輸出米検査成績簿
- 九 再検査簿
- 十 點檢簿
- 十一 容量検査簿

- 四 郡農會役員 一名
- 五 米商同業組合員 二名

輸出米檢查標準米査定會

- 一 米檢查所職員 五名以上
- 二 縣立農事試驗場員 一名
- 三 縣農會役員 一名
- 四 米商同業組合員 五名
- 五 米穀取引所役員 一名

米檢查所職員縣立農事試驗場員及郡農業技術員ニシテ査定會員タル者ハ知事之ヲ命ス

縣農會及郡農會役員並ニ米商同業組合員及米穀取引所役員ニシテ査定會員タル者ハ各其會長又ハ組長ノ推薦ニ依リ知事之ヲ囑託ス

第四條 査定會員ニシテ官吏吏員タルモノ、外會員ノ任期ハ二年トス

第五條 査定會長ハ米檢查所長ヲ以テ之ニ充ツ但シ米檢查所長事故アルトキハ官吏吏員中ニ就キ知事之ヲ命ス

標準米査定會ハ會員半數以上出席スルニ非サレハ開會スルコトヲ得ス

會議ハ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ會長ノ決スル所ニ依ル

第六條 標準米ハ產米ニ在リテハ郡毎ニ各町村ノ產米中ニ就キ輸出米ニ在リテハ輸出米檢查施行地ニ集合

同上

ノ產米中ニ就キ之ヲ査定ス但シ仙臺市ノ產米檢查標準米ハ宮城郡ノ標準米ヲ以テ之ニ充ツ

第七條 標準米ハ產米ニアリテハ上、並、等外ノ三等ニ輸出米ニ在リテハ一等、二等、三等、四等、等外

ノ五等ニ區別シ米檢查規則第七條及第九條ノ規定ニ基キ各等位ノ最低標準トナルヘキモノヲ査定ス

第八條 査定會ニ於テ査定シタル標準米ニシテ知事ニ於テ不相當ト認ムルトキハ再査定ニ附シ又ハ知事自ラ之ヲ査定ス

稻 乾 燥 規 則

(大正三年三月十一日 縣令第八號)

第一條 稻ハ刈取後架掛又ハ其他ノ掛乾方法ニ依リ乾燥スヘシ掛乾前ト雖モ穗ヲ下ニ向ケ土乾ト爲スコトヲ得ス

第二條 本令ニ違反シタル者ハ貳拾圓以下ノ科料ニ處ス

晚 稻 作 付 制 限 ニ 關 ス ル 件

(大正三年四月十四日 縣令第二十一號)

晚稻ノ作付ハ耕作者作付反別ノ二割ヲ超ユル場合ハ豫メ其事由ヲ具シ町村役場及郡市役所ヲ經テ知事ノ認可ヲ受クヘシ

稻 作 改 良 ニ 關 ス ル 訓 令

(大正三年四月十七日 訓令甲第二十號)

本縣農村ノ疲弊ハ年ヲ逐フテ甚シク農民ノ窮苦名狀スヘカラサルモノアルハ寔ニ寒心ニ堪ヘサル所ナリトス
 惟フニ之レカ原因タル頻年天候ノ不順秋冷ノ早來ハ稻作ニ多大ノ障礙ヲ來セルハ最大ノ由因ナルヘシト雖
 抑々亦農耕肥培等ノ點ニ於テ幾多人爲的努力ノ缺如セルモノ其ノ一因タルハ掩フ可カラサルノ事實ナリト
 ス故ニ之レカ挽回振興ノ方策ヲ講スルハ刻下焦眉ノ急務ニ屬ス就テハ職ニ局ニ當ル者ハ左記各項ニ遵據シ
 懇切ニ指導シ銳意其ノ實績ヲ收メサルヘカラス然レトモ斯業改善ノ方途多岐ニシテ一舉之レカ效果ヲ收ム
 ルハ決シテ易々タルノ業ニアラス依テ先ツ必行事項ト獎勵事項トヲ區別シ其ノ必行事項ニ屬スルモノハ萬
 難ヲ排シテ今年ヨリ之カ遂行ヲ期シ又獎勵事項ハ相當企畫ノ下ニ着々實行ノ歩ヲ進メ向フ三ケ年ヲ期シテ
 必ス完成ノ域ニ達セシメ以テ大ニ斯業ノ發達改善ヲ圖リ本縣農事ノ面目ヲ一新スルコトヲ期セラレヘシ

必行事項

- 第一 稻ノ品種ハ早中稻トシ晚稻ハ耕作作者付ノ二割ヲ超加セシメサルコト但認可ヲ得タルモノハ此限ニ
 アラス
- 第二 播種及插秧ノ終了期限ハ豫メ知事ノ承認ヲ得テ播種ハ二月末日插秧ハ四月十五日限り郡市長之ヲ告
 示シ其期限内ニ必ス終了セシムルコト
- 第三 稻作ニハ基肥トシテ一反步當三百貫目内外ノ堆積肥料ヲ必ス製造及施用セシムルコト
- 第四 稻田及其附近ニ生シタル害虫及稗ハ必ス驅除又ハ拔取ラシムルコト
- 第五 刈取リタル稻ハ二握ノ小束ト爲シ架掛又ハ其他適當ノ方法ニ依リ掛乾ト爲シ必ス三週間以上乾燥セ
 シムヘシ架其他棒等ニ移スマテノ間ト雖穂ヲ下ニシテ土乾ト爲スコトヲ許サ、ルコト

獎勵事項

- 第一 苗代ノ苗床ハ周圍ニ巾八寸以上ノ溝ヲ設ケ巾四尺以内ノ短冊形ト爲シ灌排水除草害虫驅除豫防等管
 理ニ便セシメ強健ノ苗ヲ仕立ツルコトニ努メシムル事
- 第二 種子ハ其地方ニ適應シタル良種ヲ選ミ採種田ヲ特設セシメ刈取リ前交リ穂ヲ拔取リ赤米ヲ除斥スル
 コト
- 第三 種子ニ對シテハ鹽水選ヲ行ハシムルコト
- 第四 插秧ハ豫メ定規又ハ張繩等ヲ準備セシメ正條植ト爲サシムルコト
- 第五 苗代ニハ跡作ヲ行ハシムルコト
- 第六 除草ハ插秧後二週間以内ニ一番除草(蟹瓜打)ヲ行ハシメ午後ノ除草ハ毎十日内外ニ之ヲ行ヒ穂孕前
 ニ終了セシムルコト
- 第七 稻田ハ成ルヘク淺水トシ花納リ穂ノ垂下シタルトキハ速ニ排水セシムルコト
- 第八 稻田ハ深耕ヲ旨トシ(成ルヘク牛馬耕ニ依ル)秋耕ヲ爲シテ土壤ヲ輕鬆ニシ施肥効力ノ發揮ト作業ノ
 進捗ヲ圖ラシムルコト

稻作改良ニ關スル訓令ノ趣旨徹底ニ關スル件

(大正三年四月十七日 勸第一九二二號内務部長通牒)
 今回訓令甲第二〇號ヲ以テ稻作改良增收ニ關スル件訓諭相成候處其趣旨ノ概要ハ別紙ノ通ニシテ本縣農業
 ノ振興上刻下最モ急務トスル處ニ有之候條切實ナル方法ニ據リ洩レナク當業者ニ周知徹底セシメ極力必行

候様御督勵相成度依命此段特ニ及通牒候也

一、稗ハ早中稻中其地方ニ適應シタル品種ヲ栽培シ且晩稻ハ作付ノ二割ヲ超ヘサルコト(必行事項)

本縣ノ氣候ハ近年暑中ノ温熱低ク且ツ秋冷早來ノ爲メ晩稻ハ從來屢違作ヲ來シ多大ノ損失ヲ致セリ故ニ萬一ヲ僥倖シ危險ヲ冒シテ晩稻ヲ作付スルカ如キハ之ヲ避ケ其地方ニ適應シタル早中稻ノ中優良ナル品種ヲ選擇シ且異種ノ混淆ヲ避ケ純良ノ種子ヲ採取シテ之ヲ栽培シ登熟ノ安全ヲ期スルハ稻作改良增收上最モ緊要ノコトナリトス

但晩稻ニ付テモ絶對ニ否認シ去ルハ實際上困難ナル場合モ有之ヘキヲ以テ耕作者ノ作付ノ二割マテハ之ヲ許シ特別事情止ヲ得サルモノニ對シテハ縣ノ認可ヲ得セシムルコト、シ晩稻作付ノ制限ヲ必行スルコト、セリ

二、鹽水選ヲ行フコト

稻種子ノ良否ハ苗ノ生育上密接ノ關係ヲ有シ其收穫ニ影響ヲ來スコト多大ナルヲ以テ稻作ノ改良增收ヲ期センニハ優良ナル種子ヲ選別播種シ剛健ノ苗ヲ育成スルヲ肝要ナリトス而シテ之カ選別ハ食鹽水又ハ苦鹽汁ニ依ルヲ的確トナスカ故ニ洩レナク鹽水選法ヲ實施セシムルヲ要ス

三、稻苗ハ強健ニ仕立ツルコト

本縣ノ如キ低温ノ地方ニ在リテハ稻苗ハ總テ障害ニ堪ヘ得ル様太ク強健ニ仕立ツルヲ要ス故ニ苗代ハ適當ノ場所ヲ選ミ施肥ニ注意スヘキハ勿論厚播キニ偏セス適度ニ播種シ且水ノ灌排害虫ノ驅除其他障害物ノ除去等播種後ノ管理手入ニ遺憾無カラシメン爲メ苗床ハ可成短冊形ト爲サシムルヲ要ス

四、早稻早植ヲ必行スルコト(必行事項)

本縣稻作ノ頻年違作ヲ來セルハ風水害等諸多ノ障害ニ因スルハ勿論ナルモ其之ヲシテ甚タシカラシメタルモノハ播種及插秧其適期ヲ失セルニ因ル元來稻ハ播種及插秧ノ早晚ニ依リ出穂成熟ニ遲速ヲ來シ隨テ其收量ヲ増減スルモノナルコトハ幾多試験成績ノ證明スル所ナリ殊ニ本縣ノ如キ低温ノ地方ニアリテハ播種及插秧ヲ適期ノ最早限度マテ進メ有ユル方法ヲ悉シテ其生育ヲ促進セシメ一日モ早く成熟セシムルヲ要ス故ニ之カ終了期限告示ノ上ハ町村督勵機關ヲシテ先ツ其周知徹底ヲ圖ラシメ又期限内ニハ必行セシムルヲ要ス

正條植ハ獨リ增收ヲ圖ルニ必要アルノミナラス除草害虫驅除牛馬耕等ノ實行ニ便ニシテ勞力ノ經濟上必
要ノ事項ナルヲ以テ田植ハ定規又ハ繩張等ニ依リ之ヲ實行セシムルヲ要ス

五、肥料ハ堆肥ヲ基本トシ之カ製造ノ必行ヲ圖ルコト(必行事項)

農作物豐收ノ根元ハ肥料ニ在リ就中堆肥ハ基肥トシテ必要缺ク可ラサルモノナルヲ以テ作人ハ專ラ之カ製造ニ努メ金肥ノ節約ヲ爲シ以テ農家ノ經濟ヲ圖カラサル可ラス但本縣ノ如キ氣候低温ノ地方ニ在リテハ肥料ノ腐熟分解緩漫ナルヲ以テ効果從テ不十分ナルニヨリ未熟ノ厩肥ヲ其儘使用スルコトハ絶體ニ之ヲ避ケ能ク堆積腐熟セシメテ施用スルニ非スハ獨リ肥料經濟上不利ナル而已ナラス稻ノ生育ヲ遅カラシメ延テ氣候上ノ障害ヲ被ムルノ虞アルヲ以テ極力多量ノ堆肥ヲ製造シテ之ヲ基本肥料ト爲シ適宜他肥料ヲ配合施用シテ稻ノ完全ナル生育ヲ遂ケシムルヲ要ス

六、害虫驅除及稗拔取ヲ必行スルコト(必行事項)

本縣產米ノ聲價ヲ失墜スル原因一ニシテ足ラスト雖稗ノ混交ハ其主タル一因ナルヲ以テ勉メテ之ガ除斥ヲ圖リ以テ聲價ヲ昂メ共同ノ利益ヲ進メサル可ラス即チ苗代時代ヨリ深ク注意ヲ拂ヒ其殘存セルモノハ稻刈取前ニ於テ必ス洩レナク採取ラシムルヲ要ス
又害虫ハ其發生蔓延速ニシテ加害ノ度亦尠少ナラス若シ之カ驅除豫防ヲ等閑ニ付スルニ於テハ知ラス識ラス多大ノ減收ヲ免レス故ニ作人ヲシテ常ニ驅除豫防ニ努メシメ其蔓延ノ虞アル場合ハ期間ヲ定メテ協力一致之ガ掃蕩ヲ期スルヲ要ス

七、稻ノ乾燥ヲ完全ニ必ス行フコト(必行事項)

米質ノ善惡ハ主トシテ乾燥ノ良否ニ關ス由來本縣產米ハ乾燥不良ナルカ爲メ粃摺ニ當リ粗皮ヲ剝脫シテ光澤ヲ損シ粹米ヲ出シ且ツ搗減多キノミナラス腐蝕變質シ易キニ依リ永キ保存ニ堪ヘス爲メニ其聲價ヲ失墜スルニ至ルハ誠ニ遺憾トスル所ナリ故ニ稻ハ刈取後二握ノ小束ト爲シ架又ハ其他適當ノ方法ニヨリ掛乾ト爲シ必ス三週間以上之ヲ乾燥セシムヘシ假令掛乾ト爲ス迄ノ間ト雖モ穗ヲ下ニシテ土乾ト爲スカ如キハ絶体ニ之ヲ避ケ以テ乾燥ノ完全ヲ圖ラシムルヲ要ス

八、本田ニ於テモ可及的稻生育促進ノ方法ヲ講スルコト

本縣ノ如ク秋冷早來ノ地方ニ在リテハ冷氣ノ未タ到ラサルニ先チ稻ノ出穗成熟ヲ遂ケシムルノ要アルヲ以テ早植ヲ實行スルト共ニ本田ニ於ケル栽培管理モ總テ此ノ方針ニ據リ生育ノ促進ニ努メシムルヲ要ス其要點左ノ如シ

(イ) 稻作肥料トシテ善ク腐熟シタルモノヲ用キ肥料ノ配合ニ最モ深ク意ヲ致シ其用量ノ過度殊ニ窒素質

肥料ノ偏用ハ其ニ稻ノ成熟ヲ甚シク遅緩ナラシムルヲ以テ其分量ヲ愆ラサル様注意シ基肥ノ施用期ヲ早メ追肥ハ成ルヘク施用セサルコト

(ロ) 稻田ハ成ルヘク常ニ淺水トシテ地温ノ昇騰ヲ圖リ花納リ穂首ノ垂ル、ニ至ラハ速ニ排水スルコト

(ハ) 除草期ノ後ル、トキハ稻ノ成熟ヲ遅緩ナラシムルモノナルヲ以テ必ス穗孕前ニ終了スルコト

九、秋季ニ於テ深耕ヲ爲スコト

稻作ノ改良增收上耕土ノ深淺ハ最大ナル關係ヲ有ス即チ耕土ノ深サヲ増スニ從ヒ收量ヲ増加スルモノナルコトハ幾多事實ノ證明スル所ナリ今本縣ニ於ケル耕土ヲ觀ルニ僅ニ深サ二三寸ニ過キサレモノ多キハ誠ニ遺憾トス仍テ此際牛馬耕具又ハ適當ナル手耕具ヲ用キテ深耕ヲ實行スルヲ要ス殊ニ牛馬耕ハ雷ニ深耕ノ目的ヲ達スル而已ナラス勞力ノ經濟上最モ肝要ノコトナリ而シテ土性ノ改良ト肥効ヲ十分ナラシメシニハ冬季ニ於テ土壤ヲ乾燥風化セシムルノ要アルヲ以テ耕土ハ必ス秋季ニ於テ耕鋤セシムルヲ要ス

十、苗代ハ必ス跡作ヲ爲スコト

本縣ニハ約四千町歩ノ苗代アリ然ルニ跡作ヲ爲サ、カ爲ニ此多大ノ良田ヲ年々空シク不毛ニ終ラシムルハ不經濟之ヨリ大ナルハナク縣下生産増殖上寔ニ遺憾トスル所ナルヲ以テ苗代ハ苗取後ニ於テ直ニ稻其他ノ跡作ヲナサシムルヲ要ス

米穀検査所職員服務心得

(大正三年四月十六日 訓令乙第一八五號)

今回告示第百六十七號ヲ以ツテ米穀検査所規程ヲ定メ米検査所從來ノ組織ヲ更メタリ要ハ本縣唯一ノ物産

タル米ノ検査ヲ一層周到嚴密ニ執行シ且一般農事ニ關シ懇篤切實ニ指導シ其改良增收ヲ圖リ仍テ以テ農家ノ經濟ヲ潤澤ニシ一縣ノ福利ヲ増進セントスルニ在リ職ニ本事業ニ從フモノ銳意努力能ク左ノ各項ヲ体膺シ任シテ以テ其成績ヲ舉ケンコトヲ期スヘシ

- 一 米穀検査所職員ハ常ニ米穀ノ改良增收ヲ以テ念トシ自己一身ノ勤惰ハ縣下農事ノ盛衰ニ影響ヲ及ホスヘキ重任ニ在ルヲ思ヒ誠意ヲ致シテ其職務ニ服スヘシ
- 二 米穀検査ノ目的ハ生産米及輸出米ヲ一定シテ市價ノ昂進ヲ圖リ延テ將來米穀ノ改良ヲ促進スルニ在リ左レハ一俵ト雖所定ノ標準ニ適合セサルモノアルニ於テハ縣下産米全体ノ聲價ニ影響ヲ及ホスヘキヲ思ヒ検査執行ニ際シテハ每俵深ク留意シ苟モ粗漏ナキヲ期スヘク殊ニ等級ハ取引上ノ標準タルヘキモノニシテ其ノ當否ハ市場ノ聲價ニ至大ノ關係ヲ有スルモノナルニ依リ深ク利害ノ存スル所ヲ考ヒ嚴ニ標準米ニ對照シ公平ニ品等シ苟且ニモ情實ニ纏綿セラレ失當ノ事アルヘカラス
- 三 検査ノ際實物ヲ示シテ其改良スヘキ要點ヲ懇篤說示スルハ改良促進上最モ切實ノ方法ナルニ依リ検査ヲ嚴正ニ執行スルノミナラス其缺點アルモノハ懇切ニ之ヲ示シテ根本的改良ニ努メシムル様深ク意ヲ致スヘシ
- 四 職務ヲ行フニハ一定ノ手續ニ依ラサルヘカラサルヲ以テ常ニ職務ニ關スル規則令達ヲ知悉シ職務ニ際シ苟モ遲疑スルカ如キコトナキヲ要ス
- 五 米ハ他商品ト異リ相場ノ變動甚シク商機一日ヲ爭フモノナルヲ以テ可及的敏速ニ検査ヲ執行シテ當業者ニ便宜ヲ與ヘ決シテ遲滯延引アルヘカラス

- 六 生産米検査員及生産米検査員補ハ縣ノ方針ニ從ヒ監督指導スヘキ事項ハ必ス率先之ヲ實行シ優良ノ成績ヲ舉ケ以テ其範ヲ示スニ特ニ力ヲ致スヘシ
- 七 平素ノ行動微ヲ慎ミ細ヲ戒メ誠實廉直ヲ旨トスヘキハ勿論態度服裝ニ至ルマテ深ク注意シ苟モ他ノ指彈輕侮ヲ受クルカ如キコトナキヲ期スヘシ
- 八 農事指導獎勵ニ關シテハ郡市町村ノ當局ト聯絡ヲ通シ可及的適切ノ手段方法ヲ取り違算ナキヲ期スヘシ
- 九 生産米検査員ハ別ニ定ムル執務要項ニ依リ當業者ニ對シ事毎ニ豫メ周知徹底セシメ且銳意熱心督勵ヲ加ヘ其成績ヲ舉クルニ努ムヘシ

生産米検査員年中行事

一月

生産米検査員行フコト(毎月同シ)
俵裝材料ノ製作ヲ指導スルコト
稻播種成績ヲ報告スルコト
稻乾燥成績ヲ報告スルコト
秋耕成績ヲ報告スルコト

二月

俵裝材料ノ準備ヲ検査スルコト
堆肥ノ製造ヲ獎勵スルコト
掛乾材料ノ準備ヲ獎勵スルコト
麥ノ踏壓及施肥法ヲ指導スルコト

三月

堆肥ノ製造ヲ獎勵スルコト
春耕ヲ督勵スルコト
掛乾材料ノ準備ヲ督勵スルコト
種籾鹽水攪ヲ督勵スルコト
種浸シノ注意ヲ爲スコト
俵裝材料準備成績ヲ報告スルコト

四月

苗代整地(短冊形)ヲ督勵スルコト
早播ヲ督勵スルコト
用水堰及水路等ノ工事竣成ヲ督勵スルコト
種籾鹽水攪ノ成績ヲ報告スルコト

五月

本田ノ整地及施肥ヲ督勵スルコト
害蟲驅除豫防ノ準備ヲ督勵スルコト
麥架ノ準備ヲ督勵スルコト
麥ノ黒穂拔ヲ督勵スルコト
苗代ノ害蟲驅除ヲ督勵スルコト
早植並正條植ヲ督勵スルコト
種穀品種別調査ヲ報告スルコト
苗代整地並播種成績ヲ報告スルコト
苗ノ生育狀況ヲ報告スルコト

六月

苗代ノ害蟲驅除ヲ督勵スルコト
早植並正條植ヲ督勵スルコト
麥ノ刈取及乾燥ヲ督勵スルコト
採種田ノ設置ヲ獎勵スルコト
苗代跡作ヲ獎勵スルコト
豆類播種ヲ指導スルコト
稲田一番除草及灌漑ヲ指導督勵スルコト
苗代害蟲驅除ノ成績ヲ報告スルコト

七月

除草並灌漑上ノ注意ヲ爲スコト
本田ノ害蟲驅除ヲ督勵スルコト
堆肥ノ製造ヲ獎勵スルコト
早植並正條植ノ成績ヲ報告スルコト
苗代跡作ノ成績ヲ報告スルコト
稲作況(大畧)ヲ報告スルコト

八月

除草及灌漑上ニ注意ヲ爲スコト
堆肥ノ製造ヲ獎勵スルコト
本田ノ害蟲驅除ヲ督勵スルコト
稲作況(二十日一週間前)ヲ報告スルコト

九月

白穂及稗拔取ヲ督勵スルコト
下水溝ノ浚渫ヲ督勵スルコト
稲田ノ排水ニ注意スルコト
稲ノ播種(交リ種)ヲ獎勵スルコト
稲掛乾ノ準備ヲ督勵スルコト
稲刈取季ニ注意スルコト
稲作收穫豫想(秋分)ヲ報告スルコト
稲乾燥及荷種積ヲ指導督勵スルコト
稲拵及米ノ調製ヲ指導スルコト
稲田秋耕ヲ獎勵スルコト

十月

稲ノ刈取り及乾燥ヲ督勵スルコト
稲ノ播種(種播交リ種)ヲ獎勵スルコト
麥種子鹽水撰及麥奴豫防ヲ督勵スルコト
麥ノ播種ヲ指導スルコト
稲田秋耕ヲ獎勵スルコト

十一月

稲乾燥及荷種積ヲ指導督勵スルコト
稲拵及米ノ調製ヲ指導スルコト
稲田秋耕ヲ獎勵スルコト

十二月

麥ノ踏壓及施肥中耕ヲ指導スルコト
稲田秋耕ヲ獎勵スルコト
稲拵及米ノ調製ヲ指導スルコト

生産米検査員執務要項

一、俵裝材料(籾、繩)製作ノ指導

米ハ商品トシテ市場ニ上リ他縣産ノモノト其優劣ヲ比較セラル、コト他ノ商品ヨリモ著シ左レハ其俵裝ヲ堅固ニシテ脱粒ヲ防キ容量ノ確實ヲ保タシムヘキハ勿論外觀ノ美ヲ保ツコトモ亦必要ナルニ依リ深ク意ヲ致シ左記各項ニ依リ之カ寸法仕様等ヲ齊一ニ改良セシムヘシ
一、農家毎戸ニ就キ先ツ籾編臺ヲ査閲シ規定ノ寸法(中央封筒七寸其他六寸)ニ適合スルヤ否ヤヲ視査シ適合セサルモノアラハ必ス規定ノ寸法ニ改造セシムルコト
二、籾ノ量目ハ五百五十匁乃至六百五十匁ノ規定ナルニ依リ此量目ニ適合スル様一定ニ製作セシムルコト
三、棧俵ノ量目ハ一個八十匁乃至百匁ニシテ徑一尺乃至一尺一寸ノ規定ナルニ依リ是亦必ス規定ノ通り製作セシムルコト
四、結繩籾繩ハ周リ九分以上ノ規定ナルニ依リ充分打柔ケタル藁ヲ以テ規定通り綯ハシムルコト
五、俵裝ニ新藁ヲ用フルトキハ米ノ品質ヲ傷フニ依リ藁及棧裝ニハ必ス古藁ヲ用キシムルコト

二、稻架其他掛乾用ノ材料準備ノ督勵

穀菽ハ乾燥ヲ吟味スルニアラサレハ如何ニ調製ニ注意スルモ徒勞ナルノミナラス品質ヲ損フヲ甚シ本縣産米ノ如キ乾燥不良ノ爲メ品質ヲ損シ色澤ヲ害シ取引上常ニ二三割ノ損失ヲ見ツ、アルコトハ爭フヘカラサル事實ナルニ依リ掛乾ヲ厲行シテ乾燥ノ完全ヲ圖ルハ刻下ノ急務ナリ而シテ之カ掛乾ニ要スル材料ハ豫メ準備セシムルニアラサレハ其目的ヲ達スル能ハサルニ依リ春季薪採取ノ際ヨリ之カ用意ヲ爲サンメ乾燥ニ當リ遺憾ナキヲ期セシムヘシ

三、麥作ノ注意

麥作ハ耕耘ノ精粗ニ依リ收穫ニ増減ヲ來タスコト著シキモノナルヲ以テ左ノ各項ニ依リ春期ニ於ケル手入ヲ怠ラシメヌ様指導スヘシ

一 麥踏ハ適季ヲ見計ヘ必ス之ヲ行ハシムルコト
二 追肥ヲ爲スノ要アルモノハ充分腐熟シタル水肥ヲ彼岸前ニ之ヲ施シ彼岸後ニハ絶對ニ之ヲ避ケシムルコト

三 中耕ハ回ヲ重ヌル毎ニ麥ノ根ヲ傷ハサル様狭ク淺ク行ハシムルコト
四 黑穂ハ其株全部ヲ出穂ノ當初ニ於テ洩レナク拔取ラシムルコト

四、春耕ノ督勵

稻田ハ成ルヘク早春ニ鋤返シヲ爲シテ土壤ノ乾曝風化ヲ圖ルニアラサレハ肥効充分ナラス隨テ稻ノ生育良好ナラサルニ依リ早春解凍次第直ニ耕鋤セシムヘク其秋耕ヲ爲サ、ルニ在リテハ殊ニ早ク耕起セシムヘシ

五、種籾鹽水撰ノ督勵

撰種ノ精粗ハ苗ノ強弱ニ至大ノ關係ヲ有シ隨テ收穫ノ増減ニ著シキ影響アルハ試驗成績ノ證明スル所ナルニ依リ登實ノ不充分ナル子粒ハ之ヲ除キ其完全ナルモノ、ミヲ種子ニ供スルニアラサレハ收穫ノ萬全ヲ期スル能ハス而シテ種子精撰ノ便法ハ鹽水撰ノ右ニ出ツル方法ナキニ依リ左ノ各項ニ依リ洩ナク鹽水撰ヲ行ハシムヘシ

一 鹽水撰ハ各自ニ之ヲ行アヨリモ共同シテ執行スル方經濟ニ仕上ルヲ以テ最寄共同セシメ材料ハ持寄り

又ハ共同購入ヲ爲シテ實行セシムルコト

二 撰種ニ要スル水ト鹽トノ割合ハ左ノ如シ

無芒ノ粳(水一斗ニ付食糧三升乃至四升ノ割合(比重一、一〇乃至一、一三)普通苦鹽汁ハ水ト等分ニ混シタル者固形苦鹽ハ水一斗ニ一、四五百匁溶解シタルモノ)

糯及有芒ノ粳(水一斗ニ付食糧約三升ノ割合(比重一、〇八乃至一、一〇)普通苦鹽汁ハ四升ニ水六升ノ割合固形苦鹽ハ水一斗ニ一、二三百匁溶解シタルモノ)

三 鹽水撰ヲ爲シタル種籾ハ直チニ清水ニテ洗ヒ鹽氣ヲ去ラシムルコト

六、堆積肥料製造ノ獎勵

堆肥ハ農作上最モ重要ノ基本肥料ニシテ之カ施量ノ多寡ニ依リ收穫ニ増減ヲ來タシ農家經濟ノ消長ニ關スルコト頗ル大ナルヲ以テ耕地一反步當三百貫目内外ハ必ス之ヲ製造セシメ以テ金肥ノ使用ヲ節約シ經濟的ニ耕作セシムルコト最モ肝要ナルヲ以テ左ノ各項ニ依リ指導獎勵スヘシ

一 肥料ノ熟否如何ハ作物ノ成熟ニ遲速ヲ來シ殊ニ本縣ノ如キ秋冷早來ノ地方ニ於ケル稻作ニ施用スル肥料ハ最モ能ク腐熟シタルモノヲ用ユルニアラサレハ成熟期後レ爲ニ違作ヲ來タシ易キニ依リ厩肥ノ如

二 冬期間ハ氣温ノ關係上腐熟遲緩ナルニ依リ成ルヘク早ク堆積シ施用期マテニ充分腐熟セシムヘシ

三 堆積中水分缺乏スルトキハ過熱ノ爲メ肥効ヲ減損スルヲ以テ時々水ヲ注クコトニ注意スヘシ

四 切返シハ必ス二三回ハ之ヲ行ヒ腐熟ノ均一ヲ圖ラシムヘシ

五 肥料舍ハ敢テ完全ヲ責ムルニ及ハス農家ノ資力ニ應シ堀立小屋ニテモ可ナレハ唯床ヲ吟味シ毎戸洩レ

六成ルヘク肥料含ヲ建設セシムヘク獎勵スヘキハ勿論ナルモ其建設ナキモノニハ必ス雨覆ヲ施スヘシ

七、浸種ノ注意

種籽ヲ水浸シト爲スノ目的ハ發芽ニ必要ナル丈ケノ水分ヲ吸收セシムルカ爲ナレハ六日乃至十日間ニテ充

分ナリトス而シテ浸種ヲ行フニハ左ノ各項ニ注意セシムヘシ

一、種籽ノ俵ハ一俵ニ一斗乃至二斗位入レ成ルヘク寛ク結ヒ水分ヲ均一ニ吸收セシムルコト

二、浸種ノ場所ハ河流ニ於テスルヲ最モ可トス汚濁腐敗セル溜水ノ如キハ之ヲ避ケシメ表面ヨリ一尺位ノ

水ノ深サニ沈メ底土ニ接著セシメサル様ニスヘシ

三、桶浸ト爲ノ場合ニハ日々水ヲ汲ミ換フルヲ要ス

四、種俵ハ時々上下反轉シテ温度ノ均一ヲ圖ラシムヘシ

八、苗代ノ整地及播種上ノ注意

苗ノ強弱健否ハ其收穫ノ増減ニ至大ノ關係ヲ有スルニ依リ苗ノ育成ニハ最モ深ク意ヲ致サ、ルヘカラス而シテ早植ヲ必行スルニハ早播ヲ爲シテ苗生育ノ促進ニ努ムルコト最モ必要ナルニ依リ左ノ各項ニ依リ指導

督勵スヘシ

一、苗代ハ共同又ハ集合スルトキハ水ノ灌排害虫驅除其他ノ管理ニ勞力ヲ節約シ得テ經濟上利便ナルニ依

リ懇篤之カ實行ヲ勸誘スルコト

二、苗代ノ位置ハ水ノ灌排且日光ノ透射良好ニシテ成ルヘク溫暖ノ地ヲ撰ハシムヘシ屋敷廻リニシテ日蔭

ノ場所ハ之ヲ避ク

三、泥深キ田惡水掛リニシテ肥沃ニ過キタル田又ハ冷水或ハ溢水ノ湧出スル田ハ之ヲ避ケシムヘシ

四、苗代ニ充ツヘキ稻田ハ稻刈取後直チニ耕起シテ充分寒氣ニ曝シ春季ニ至リ再三耕鋤シテ土塊ヲ碎キ腐

熟シタル肥料ヲ適量ニ施スヘシ殊ニ磷酸質肥料及木灰ヲ加用セシムヘシ

五、苗床ハ巾四尺以内ノ短冊形ト爲シ周圍ニ巾八寸以上ノ溝ヲ設ケ水ノ灌排除草害虫驅除等管理ノ便ヲ期

セシムヘシ

六、寒風ヲ防キ苗ノ生育ヲ助長スルタメ苗代ノ周圍ニ資垣又ハ藁垣ヲ設ケシムヘシ

七、灌漑水ハ苗代ノ附近ニ水溜ヲ設ケ一旦日光ニ温メタル上流入セシムヘシ

八、播種ハ郡市長ノ指定シタル期限内ニ必ス終了シ得ヘキ様苗代ノ整理、種揚等ニ注意シ早播ヲ勵行セシ

ムヘシ

九、播種厚キニ過クルトキハ苗ヲ軟弱ナラシムルヲ免レサルヲ以テ一坪三四合ヲ度トシ斑ナク播下セシム

ヘシ

十、播種後二日間位ハ水ヲ漲リタル儘ニナシ置キ其後ハ雨天若クハ甚シク寒冷ノ日ニアラサル限り大凡三

週間毎朝水ヲ排シ極メテ淺水トシ床面ヲ温メ生育ヲ促進シ強健ナル苗ヲ得ルニ努メシメ且溝ヲ利用シ

テ稗雜草幼苗等ヲ除キ害虫驅除ヲ厲行セシムヘシ

九、用水堰ノ工事及水路浚渫ノ督勵

灌漑用水堰ノ工事及水路ノ浚渫等從來々其時季ヲ失シ爲メニ播種插秧ヲ遅延セシメ違作ヲ來タシタルノ

例抄ナシトセス依リテ之カ工事ハ遅クモ四月中ニ完成シテ早植ニ支障ナカラシムル様督勵スヘシ

一〇、本田ノ整地及施肥上ノ注意

早植ヲ厲行センニハ耕鋤及施肥等ヲ早メサルヘカラス依リテ左ノ各項ニ依リ督勵スヘシ
一 乾田ノ耕鋤ハ可及的之ヲ進メ充分土壤ヲ乾燥セシメテ肥効ノ發揮ニ努メ濕田ノ耕起モ亦之ヲ進メ早植ノ實施ニ支障ナカラシムヘシ

二 耕土ノ深淺ハ稻ノ生育收量ノ増減ニ至大ノ關係ヲ有スルモノナルヲ以テ努メテ深耕ヲ爲サシムヘシ
三 切返シヲ丁寧ニシ土塊ヲ能ク粉碎セシムヘシ

四 肥料ハ土質氣候ニ依リ種類用量等一定シ得サルハ勿論ナルモ堆積肥料ハ基肥トシテ一反歩三百貫目内
外必ス之ヲ施用シ磷酸質及加里質肥料ヲ加用セシムヘシ

磷酸及加里肥料ノ施用量ハ基肥ノ種類ニ依リ一定スヘカラサルモ過磷酸石灰ナレハ一反歩ニ付五六貫
目草木灰ナレハ十貫目内外ヲ施用セシムヘシ

五 未熟肥料ヲ施用スルトキハ稻ノ成熟遅ル、ヲ以テ厩肥(一旦堆積腐熟セシメテ施用セシムルヲ要ス)綠肥大豆粕等ノ如キ肥料ハ
基肥トシテ可及的早ク之ヲ施シ追肥ハ施用セシメサルヲ要ス

六 整地(代掻)ノ精粗ハ苗ノ根付生長ニ至大ノ關係ヲ有スルヲ以テ代掻ヲ丁寧ニシ耕土ヲ能ク攪拌シ田面
ヲ均一ニ整地セシムヘシ

一一、苗代害虫驅除豫防實施督勵

稻作上虫害ノ恐ルヘキコトハ今更言ヲ俟タス殊ニ螟虫ハ年々縣下到處ノ稻田ニ發生スルモ其侵害ノ狀態
比較的緩漫ナルタメ深ク農家ノ注意ヲ惹クニ至ラサルモ其收穫上ニ及ホス影響實ニ尠少ナラサルモノアリ

故ニ之カ驅除豫防ハ其未タ蔓延セサル苗代時季ニ於テスルヲ効果最モ大ナリトス依テ左ノ各項ニ依リ極力
督勵スヘシ

一 誘蛾燈ハ苗代一反歩ニ對シ少ナクトモ三個ノ割合ニ點火スヘク其準備ヲ督勵シ豫メ耕作者毎戸ニ就キ
實地ニ之ヲ調査シテ不足ノモノ又ハ不完全ノモノアラハ其設備ヲ完カラシムヘシ

二 五月中旬ヨリ豫察燈ヲ點シ螟虫蛾ノ發生ヲ認メタルトキハ作人ヲシテ一齊ニ點火誘殺セシムヘシ若シ
誘蛾燈ノミニテ不充分ナリト認ムルトキハ松明焚火等ニテ蛾ヲ誘殺シ且捕虫網ヲ以テ捕殺セシムヘシ

三 誘蛾燈ハ成ルヘク苗代ノ周圍適當ノ處ニ配置シ苗ノ葉尖ヨリ約六七寸ノ高サニ裝置セシムヘシ
四 誘蛾燈ハ日々掃除シテ光力ヲ減セサル様ニシ水盥モ日々水ヲ換ヘ必ス油ヲ滴セシムヘシ

五 苗代ニ於ケル採卵ハ螟虫驅除上効果最モ著シク且實行シ易シキ方法ナルヲ以テ苗取り間際マテ日中ハ
必ス採卵ヲ爲サシムヘシ

六 採卵ハ兒童ニ最モ能ク適シタル仕事ナルヲ以テ豫メ小學校ト協商シ實習ヲ兼テ實行セシムルノ途ヲ取
ラシムヘシ

七 螟虫ノ卵ニハ糠蜂ト稱スル益虫寄生スルヲ以テ摘採シタル卵塊ハ便宜ノ處ニ置キ益虫ヲ發生セシメタ
ル上之ヲ處置セシムヘシ

八 苗代ハ苗取りマテノ間ニ於テ二三回苗ノ葉尖七八分マテ没スル程水ヲ湛ヘ捕虫網ヲ以テ潜伏スル處ノ
總テノ害虫ヲ掬ヒ取ラシムヘシ

一二、麥架準備ノ督勵

麥類ノ刈取季ハ農家最モ多忙ノ時期ナルト時恰モ梅雨期ニカ、ルヲ以テ自然收穫ノ適期ヲ逸スルノミナラ
ス其刈取リタルモノハ畑地ニ於テ往々發芽腐蝕ヲ來スモノアリ麥ハ刈取時期ノ早晚及乾燥ノ良否ニ依リ收
穫ノ増減品質ノ良否ニ至大ノ關係アルニ依リ適期ニ刈取ラシムヘキハ勿論乾燥ノ點ニ最モ注意セシメサル
ヘカラス依テ前以テ麥架ノ設備ヲ督勵シ刈取リタルトキハ直チニ架掛ト爲シテ乾燥ノ完全ヲ期セシムヘ
シ

一三、早植並正條植ノ督勵

稻ノ登熟ハ插秧期ノ早晚ニ由リ遲速ヲ來タシ隨テ豊凶ニ至大ノ關係ヲ有スルモノナルコトハ年來ノ實驗ニ
徴シ明カナル事實ナリトス殊ニ本縣ノ如キ秋冷早來ノ地方ニ在リテハ早植ヲ實行シテ登熟ノ促進ヲ圖ルハ
稻作改良上最モ重要ノコトナルニ依リ豫メ準備作業ヲ進メ郡(市)長ノ指定シタル期限内ニハ必ス終了セシ
ムル様全力ヲ盡シテ督勵スヘシ

正條植ハ獨リ增收ヲ圖ルニ必要ナルノミナラス除草、害虫驅除、牛馬耕等ノ實行ニ便ニシテ勞力ノ經濟上
必要ノコトナルヲ以テ插秧ハ定規又ハ繩張等ニ依リ正條植ト爲スヘク獎勵スヘシ

一四、麥刈取獎勵

麥ノ刈取期ヲ失シ爲メニ其品質ヲ損シ且收穫ヲ減スル等多大ノ損失ヲ見ツ、アルハ縣下ノ通弊ナルヲ以テ
麥ハ穗首二三寸黃變シタルトキハ刈取ノ適期ナルヲ以テ其期ヲ失セス刈取ラシムル様極力獎勵スヘシ

一五、採種田ノ設置督勵

稻ノ品種ハ如何ナル良種ト雖モ永續シテ之ヲ栽培スルトキハ自然ニ退化ヲ免レヌ故ニ其退化ヲ防キ純良ノ
種子ヲ得ントセハ優良ノモノヲ撰擇シ左ノ各項ニ依リ採種田ヲ特設セシメ栽培管理等耕作上特ニ意ヲ致シ
テ品種ノ向上ヲ圖リ其特性ノ保持ト品種ノ改良ニ努メサルヘカラス

一 採種田ハ肥沃ニ過キサリ土地ニシテ且水ノ灌排ニ便ナル處ヲ撰ハシムヘシ

二 肥料ハ堆積肥料ヲ基肥トシ磷酸質及加里質肥料ヲ適度ニ加用シ出來過キニ陥ラサル様耕作セシムヘシ

三 採種田ノ插秧ハ一本植ト爲スヘシ

四 水ノ灌排除草等管理上特ニ周到ヲ期スヘシ

五 穗揃後二三回變種混種等ヲ仔細ニ調査シ變種ハ洩ナク其株全部ヲ拔取ラシメ且ツ收穫期ヲ逸セサル様

注意セシムヘシ

一六、苗代跡作ノ獎勵

苗代跡作ハ年來獎勵シ來タルニ拘ハラヌ實施スル者尙未タ甚タ少ナシ而シテ其實施セサルハ翌年ニ於ル苗
ノ不良ヲ氣遣フカ爲ナルカ如シ然ト雖苗生育ノ不良ナルハ耕作上技術ノ未タ熟練セサルニ依ルモノニシテ
他地方ハ勿論本縣内ニ在リテモ地方ニ依リテハ年來跡作ヲ實施シ何レモ成効シ居ルヲ以テ見レハ相當ノ方
法タニ悉セハ決シテ失敗ヲ氣遣フニ及ハサルナリ若シ特殊ノ事情ニヨリ一律ニ實施セシムルコト困難ナリ
トセハ先ツ篤農家ヲ勸メテ之ヲ實施セシメ其範ヲ示シテ漸次之カ普及ヲ圖ルヘシ

一七、大豆作ノ注意

大豆ハ米麥ニ亞クノ重要作物ニシテ縣外ニ輸出スル額モ逐年増加ノ勢ヲ呈シ將來倍々有望ノ物産ナルヲ以

テ之カ改良增收ヲ圖ルハ最モ重要ノコト、ス依テ左ノ各項ニ依リ指導獎勵スヘシ

- 一 品種ハ麥ノ播種ニ支障ナク收穫シ得ヘキ適種ヲ撰マシムヘシ
- 二 種子ハ形狀整齊能ク充實シタルモノヲ撰ミ五月下旬(百五ヲ中心トシ)麥ノ畦間ヲ成ルヘク淺ク丁寧ニ耕シ二三粒ツ、點播セシムヘシ
- 三 肥料ハ一反歩ニ付木灰七八貫目ヲ必ス施用セシムヘシ
- 四 播種後二週間以内ニ麥ヲ刈取ル様手配リヲ爲サシムヘシ

一八、本田除草ノ注意

除草ノ目的ハ獨リ雜草ヲ艾除スルノミナラス土壤ヲ攪拌シテ膨軟ナラシメ土中ニ温熱ヲ與ヘ以テ肥料ノ分解ヲ速カニシ稻ノ生育ヲ助長促進スルニアリ故ニ插秧如何ニ早キモ除草適期ヲ失スルトキハ隨テ生育遅レ早植ノ効ヲ没却スルニ至ルモノナルヲ以テ左ノ各項ニ依リ指導獎勵スヘシ

- 一 一番除草(蟹爪打)ハ插秧十日以内ニ之ヲ行ヒ二番除草即蟹爪均ラシハ五六日ヲ經テ之ヲ行ヒ爾後ノ除草ハ毎十日内外ニ之ヲ行ヒ穗孕前ニ必ス終了セシムヘシ
- 二 除草ハ成ルヘク温暖ノ日ニ於テ行フヲ良トス殊ニ朝夕ヨリモ日中ニ行フハ効果最モ大ナリ其故ニ夕揚ケヲ早クスルモ晝寝ヲ廢スル様獎勵スヘシ
- 三 稻ニ混生シアル稗ハ仔細ニ注意シテ拔取ラシムヘシ

一九、灌溉上ノ注意

灌溉ノ目的ハ稻ニ必要ノ水分ヲ供給シ併テ地中ノ養分ヲ溶解セシメ且温度ヲ調和シテ稻ノ生育ニ資スルニ

アルヲ以テ水ハ常ニ深ク湛フルニ及ハス成ルヘク淺水ト爲シテ地温ノ昇騰ヲ圖ラシムベク山間部ノ如キ冷水掛リノ場所ハ水溜ヲ設ケテ水ヲ温ムルカ又ハ特ニ小溝ヲ設ケテ水ヲ迂回注入スル等冷水ノ直接流入ヲ避ケシムルノ方法ヲ取ルヘシ又田面ハ時々水ヲ排除シテ日光ニ觸レシメ地温ヲ高メ肥料ノ分解ヲ促カシ根ノ發育ノ助長ニ努メシムヘシ

二〇、本田ノ害虫驅除督勵

苗代ニ於テ産卵シタル螟虫ハ插秧後本田ニ於テ孵化シ稻莖ニ蝕入シテ最初心枯ヲ生シ漸次枯凋スルモノナルヲ以テ心葉ノヨレタルモノ及枯莖ハ根元ヨリ拔取リ其零葉ハ之ヲ掻集メテ地中ニ埋ムルカ堆肥中ニ投シテ蒸殺スル等油斷ナク驅除豫防ニ努メシムヘシ

二一、排水上ノ注意

稻穂ノこぼみタル後尙水ヲ湛ヘ置クハ成熟ヲ遅延セシムルノミナラス乾燥ヲ妨ケ米ノ品位ヲ損スル等不利尠ナカラサルヲ以テ穂ノこぼみタルトキハ水ヲ排除シテ田面ノ乾燥ヲ圖ラシムヘシ砂質土ニシテ水分保留ノ力少ナキ田ハ加減スルヲ要ス其排水悪シキ田ハ其ノ周圍及縱横ニ小溝ヲ作り排水ニ努メシムヘシ排水溝ノ浚渫刈拂等ハ稻ノ成熟前ニ必ス之ヲ行ヒ排水ニ支障ナカラシムヘシ

二二、白穗及稗拔取ノ督勵

本縣産米ニ細死米ノ混入多キハ其原因種々アルヘキモ主トシテ白穗ノ拔取方ヲ怠ルカ爲メ其ノ他害ヲ爲シタル螟虫カ結實半ニ在ル他ノ稻莖ニ蝕入シテ養液ヲ絶ツニ依リ完全ニ登實スルコト能ハスシテ竟ニ死米トナルニ因ル而シテ此死米ト稗ノ混入セル爲メ市場ニ於ケル聲價昂ラス取引上常ニ不利ヲ見ツ、アルハ寔ニ

遺憾ニ堪ヘス依テ左ノ各項ニ依リ驅除豫防ノ實施ヲ督勵スヘシ

- 一 秋期ニ於テ蝨害ニ係ル白穂及稗拔取ハ實施日割ヲ定メ之ヲ勵行セシムヘシ
- 二 白穂ハ穂ノミヲ拔取ルモ何等効ナキニ依リ必ス根元ヨリ之ヲ刈取リ堆肥中ニ投シテ蒸殺セシムヘシ
- 三 稗ハ穂シミ拔取ルトキハ日ナラス再ヒ出穂スルモノナルヲ以テ是亦必ス根肥ヨリ刈取ラシメ其刈取リタル稗ハ畦畔路傍等ニ遺棄セシメス取纏メ蒸シテ馬糞ニ供スルカ又ハ堆肥中ニ投シテ其發芽力ヲ絶タルシムヘシ

二三、稻撰種上ノ注意

種子ニ供スルモノハ立毛中ヨリ注意シテ純粹ノモノヲ撰ハシムルヲ要ス依テ左ノ各項ニ依リ指導スベシ

- 一 通常ノ種子ニ供スルモノハ變種及交リ穂ヲ拔取リ適期(普通ノ刈取ヨリ稍早ク)ニ刈取ラシムベシ
- 一 刈取リタル稻ハ成ルベク雨露ニ晒ラサル様掛乾ト爲サシムベシ
- 三 原種ニ供スルモノハ稻株中ヨリ其品種固有ノ性質ヲ完備シタル純粹ノモノ、ミヲ撰ミ之ヲ根元ヨリ刈取リ適當ノ場所ニ於テ掛乾トナシ糶拵及貯藏等特ニ叮嚀ニセシムベシ
- 四 刈取リタル稻ハ一種毎ニ一二粒ノ糶ヲ摺リ剝キ赤米ノ有無ヲ檢シ赤米アル穂ハ之ヲ除カシムベシ

二四、麥作ノ指導獎勵

麥ハ米ニ亞クノ重要作物ニシテ又能ク本縣ノ氣候風土ニ適シ之ガ耕種肥培ヲ合理的ニ改良センニハ現在ニ倍蓰スル收穫ヲ得ルハ敢テ難事ニアラズ故ニ左ノ各項ニ依リ改良增收ヲ期スベク指導獎勵スベシ

一種麥ハ必ズ鹽水撰ヲ行ハシムベシ其方法ハ種麥ヲ最初水撰ヲ行ヒ(鹽ノ節約ヲ圖ルメ)次ニ水一斗ニ鹽三升ヲ溶

解シタル水ニテ撰種スベシ(一回ニ二三升位ヅ・ヲ行フヲ可トス)

二左ノ方法ニ依リ必ズ麥奴豫防ヲ行ハシムベシ

- 第一法 糞灰二升ニ熱湯一斗ヲ注キテ灰水ヲ作り上澄水ヲ取り冷却ヲ待テ二晝夜種麥ヲ浸スコト
- 第二法 冷水温湯浸ヲ行フコト其方法ハ種麥ヲ六時間乃至八時間水ニ浸シ後之ヲ箕ニ移シ先ヅ百二十八度ノ温湯ニ入レテ平均ニ温メ之ヲ更ニ百三十二度ノ湯ニ入レテ五分間浸シタル後之ヲ取出シテ篩ニ擴ケ天日ニ乾スベシ

三肥料ハ基肥トシテ堆積肥料ヲ施用スルハ勿論過磷酸石灰及木灰ヲ加用ヒシムルコト

四播種ハ本縣ニ於テハ大麥ハ十月中旬小麥ハ十月上旬ヲ適期トスルヲ以テ此時期ヲ失セザル様督勵スベシ

五畦立ハ其地ノ地勢ニ依リテ適宜之ヲ立ツベキハ勿論ナルモ成ルベク東西ニ立ツルヲ可トス

六畦巾ハ二尺乃至二尺五寸ニシテ五六寸ノ巾ニ播カシムベシ

七種量ハ一反歩五六升ヲ度トシ斑ナク播種セシムベシ

八播種後三十日位ノ後必ズ踏壓ヲ行ハシムベシ

九年内ニ必ズ第一回ノ中耕ヲ行フコト年内ノ中耕ハ北又ハ西ニ向ヲナシ寒風ヲ防クタメニ成ルベク高畦トナスヲ要ス

十追肥ハ春彼岸前ニ終了スルヲ要ス

十一三月中旬第二回ノ踏壓ヲ行フヲ要ス

二五、稻刈取時期ノ注意

稻刈取りノ時期ハ品種土質及成熟状態ニヨリテ異ナルハ論ヲ俟タズト雖モ晩キニ過グレバ品質ヲ損スルノミナラズ收量ヲ減ジ又早キニ失スレバ青米ヲ混ジ粒形米質共ニ齊一ヲ缺ク等不利少カラザルニヨリ穂ノ心莖眞黄色ヲ呈セルヲ以テ適期トシ此時期ヲ失セズ刈取ラシムベシ

二六、稻乾燥ノ督勵

乾燥ハ稻作最終ノ重要作業ニシテ米ノ品位ハ乾燥ノ程度ニ依テ左右セラレ隨テ聲價ニ影響スルコトハ稻架ノ項ニ於テ説述セリ之レガ改良ハ本縣産米改良上急務中ノ最モ急務トスル處ナリ依テ左ノ各項ニヨリ極力督勵スベシ

一從來ノ如ク稻ヲ大束トナストキハ藁ノ乾燥速ナラズ隨テ米ノ乾燥十分ナルヲ得ス殊ニ荷穂積後ニ至リ藁ノ濕氣ヲ米ニ及ボシ其米質ヲ害スルヲ以テ刈り取りタル稻ハ二握リノ小束トナシテ乾燥シ易カラシムベシ

二本縣産米ノ光澤ニ乏シク品質不良ナルハ稻穂ヲ下ニシテ畦畔又ハ田面ニ土乾トナスガタメナリ藁ヲ乾燥スルニハ便利ナルベキモ之ガタメ大切ノ米質ヲ損スルニ至リテハ實ニ遺憾ニ堪ヘザルナリ依テ有ユル手段ヲ悉シテ逆立ハ絶對ニ之ヲ避ケシムベシ

三架掛ハ最良ノ乾燥方法ナルモ一時ニ全部之ヲ行ハシムル能ハザル場合ハ棒掛ケ其他ノ掛乾方法ニ依リ充分乾燥ヲ圖ラシムベシ棒掛ト爲ストキハ其下部ニ支木ヲ結付ケ稻ヲシテ地面ニ接着セシメザル裝置ヲナサシメ必ズ適宜上下轉換シテ斑ナク乾燥セシムベシ

四乾燥方法如何ニ完全ナリト雖モ乾燥日數短キトキハ充分乾燥セザルニ依リ三週間以上ハ必ズ乾燥セシムベシ農家ハ野外乾燥中盜難ヲ氣遣ヒ又ハ仕事ノ進行ノミヲ主トシテ早揚ケヲナスニ至ルヲ以テ地方申合セ稻揚季ヲ一定シ乾燥期間中ハ夜番ヲ設ケテ盜難ヲ防ク等適切ノ方法ヲ以テ長ク乾燥ヲ圖ラシムベシ

二七、秋耕ノ獎勵

秋耕ハ土壤ヲ風化膨軟ナラシメ耕土ヲ深クシ且肥効ノ發揮ヲ充分ナラシメ增收ヲ圖ル上ニ必要ナルノミナラズ翌春ニ於ケル農家作業ノ進行上多大ノ利益アルヲ以テ稻刈終了シタルトキハ必ズ秋耕セシムベシ而シテ成ルベク牛馬耕ニヨリ深耕セシムベシ

二八、稻揚及荷穂積ノ注意

稻揚ケハ成ルベク晴天ノ日ヲ撰ミテ之ヲ行フベク雨後又ハ雨模様ニテ空氣濕潤ノ日ハ努メテ避ケシムベシ荷穂積ノ場所及積方ニヨリテモ乾燥ノ良否ニ影響ヲ及ボスモノナルヲ以テ積場所ハ風通シ良キ高燥ノ地ヲ撰ミ成ルヘク小荷穂ニ積ミ荷穂ノ一方(風ヲ受クル方向)ニ風口ヲ設ケ風通シヲ圖ルノ裝置ヲナサシムベシ

二九、糶拵ノ注意

調製ノ不充分ナル糶ヲ摺曰ニ掛ケルトキハ細米ヲ混シ碎米ヲ生シ米ノ品位ヲ損スルコト大ナリ故ニ先ツ拵ヲ吟味シ其良否ヲ吹分ケテ米ノ精撰ニ努メシムベシ

三〇、米調製ノ指導

産米ノ良否ハ其調製ノ精粗ニヨリテ岐ル故ニ米ノ調製ハ産米改良上最モ重量ノコトナルヲ以テ新穀ノ初期

ニ於テ左ノ各項ニヨリ毎戸ニ就キ指導スヘシ
 一 調製ノ良否ハ摺臼、唐箕、萬石通シ等用具ノ良否ニ關係スルモノナルヲ以テ豫メ注意シテ使用季前ニ
 修繕又ハ設備ヲナサシメ完全ノモノヲ用キシムヘシ
 二 米ノ調製ハ品種毎別々ニ取扱ヒ必ス異品種又ハ乾燥程度ノ異ナルモノヲ混交セシメサル様注意スヘシ
 三 標準米ヲ示シテ調製程度ノ一定ヲ期シ細碎米土砂塵埃等ハ之ヲ完全ニ除去セシムヘシ

三一、産米検査執行

米ノ相場ハ變動劇シキモノナルニヨリ検査ノ執行緩慢ナルトキハ輒モスレハ生産者ヲ不利ニ陥ルヲ免レス
 故ニ検査最盛期間ハ便宜巡回日割ヲ定メテ之ヲ各生産者ニ豫告シ其日ニ於テ検査ヲ受ケシムル様準備セシ
 メ豫定ノ日ニハ必ス巡回検査ヲナスヘシ但シ日割以外ト雖モ急ヲ要シ特ニ申請アルトキハ臨時出張検査ヲ
 ナシ勉メテ受檢者ニ便宜ヲ與フヘシ
 一 検査ハ左ノ順序ニヨリ執行スヘシ
 (イ) 俵數及賣米小作米ノ區別ヲ調フルコト
 (ロ) 俵裝ハ葦ノ長短、厚薄、棧俵ノ大小、小口腰リ及棧俵接着ノ適否結繩ノ太サ並ニ緊括ノ可否等總
 テ俵裝標準ニ適合スルヤヲ檢スルコト
 (ハ) 米ハ之ヲ檢米器ニ取リテ調製ノ良否ヲ檢シ次テ標準米ニ比較對照シ慎重ニ鑑別品等スルコト
 (ニ) 等級決定シタルトキハ相當證印ヲ棧俵ニ押捺シ其側ノ腰繩ニ検査紙票ヲ結付クヘシ若シ受檢者ヲ
 シテ付ケシムルトキハ必ス即時面前ニテ結付ケシメ如何ナル場合ト雖モ検査紙票ヲ交付シタル儘立

去ルカ如キコトアルヘカラス

検査紙票ノ記入ハ鉛筆ヲ用フヘカラス

(ホ) 検査済ノ米ニハ米穀検査規則第十二條ニヨリ生産者ノ住所氏名ヲ記載シタル名札ニ検査員ノ認印
 ヲ押捺シ立會人ノ面前ニ於テ之ヲ俵内ニ挿入セシムヘシ

(ハ) 検査終了シタルトキハ其成績及賣米小作米ノ區別ヲ直チニ検査手簿ニ記入スヘシ

三 検査ヲ申請セル米ニシテ調製、俵裝等規定ニ適合セサルモノアルトキハ懇切ニ其缺點ヲ示シ相當手直
 ヲナサシメタル上検査執行スヘシ

四 米ノ改良ヲ促カスニハ検査ノ場合ニ於テスルヲ最モ適切ナリトス故ニ實物ニ就キ改良スヘキ點ヲ懇篤
 說示シテ將來ノ改良ニ努メシムヘシ

三二、督勵ノ成績及作況報告

以上各項ニヨリ指導督勵シタル成績ハ各其時期ニ於テ別表様式ニ依リ各其期限マテ遲滯ナク所屬支所長ニ
 報告スヘシ

報告様式

第一表 (報告期限一月末日)

稻撰種獎勵成績		郡		町(村)	
農家總戸數	一定ノ採種田ヨリ採種シタルモノ	特ニ撰種ヲ爲シタルモノ	備	考	
戸數	石	戸數	石		

注意 特ニ撰穂ヲナシタルモノトハ原種用トシテ採種シタルモノナリ
第二表 (報告期限一月末日)

秋耕獎勵成績

郡 町(村)

農家總戸數	米作付總反別	牛馬耕ニ依リタルモノ		手耕ニ依リタルモノ		備	考
		戸數	反別	戸數	反別		

注意 秋耕ヲナサ、ルモノアラバ其事由ヲ備考欄ニ記載スルコト
第三表 (報告期限一月末日)

稻乾燥督勵成績

郡 町(村)

農家總戸數	米作付總反別	架掛		何々		何々		備	考
		戸數	反別	戸數	反別	戸數	反別		

注意 乾燥方法ノ異ナルモノ毎ニ戸數反別ヲ調査スルコト
獎勵ノ結果小東ニ改メタル戸數反別及簡易ニシテ有効ナル乾燥方法アラバ備考トシテ附記スルコト
第四表 (報告期限二月末日)

俵裝材料製作指導成績

郡 町(村)

農家總戸數	俵ノ準備ヲ爲シタルモノ	備	考
	戸數		

注意 備考欄ニハ指導及検査ニ從事シタル月ト日數並ニ蒞編臺ノ不完全ニシテ手直シヲナサシメタル戸數個數等ヲ記載スルコト
第五表 (報告期限四月末日)

種籾鹽水撰獎勵成績

郡 町(村)

農家總戸數	種籾總石數	各自實施シタルモノ		共同實施シタルモノ		備	考
		戸數	石數	戸數	石數		

注意 材料ノ種類(食鹽苦鹽汁、固形苦鹽)及提供ノ區別(共同購入又ハ持寄)等實施ノ概況ハ備考欄ニ記載スルコト

第六表 (報告期限五月末日)

種籾品種別調査

郡 町(村)

品別數	龜ノ尾		郷豐		後元		藤浦		谷何々		計		耕作者氏名
	戸數	石數	戸數	石數	戸數	石數	戸數	石數	戸數	石數	戸數	石數	

農家毎戸ニ就キ詳細ニ調査スルコト
種、糯各別ニ調査シ一町村ノ品種別合計ヲ報告スルコト

第七表 (報告期限五月末日) 苗代整地播種成績

農家總戸數	苗代總反別	短冊形安全ノモノ		短冊形不完全ノモノ		指定期限内ニ播種シタルモノ		指定期限後ニ播種シタルモノ	
		戸數	反別	戸數	反別	戸數	反別	戸數	反別

注意 共同苗代集合苗代獎勵ノ成績及指導期限後ニ播種シタル事由ハ備考トシテ附記スルコト
(報告期限六月末日)

第八表 苗代害虫驅除成績

農家總戸數	苗代總反別	點火シタル誘蛾燈ノ數		點燈シタル夜		採卵ニ從事シタル兒童延人員		同上採卵數	同上捕蛾數
		戸數	反別	戸數	反別	戸數	反別		

注意 左記各項ヲ備考トシテ附記スルコト

- 一點燈誘殺ノ始期及蛾發生ノ最盛期
- 二點燈以外焚火松明等ヲ以テ驅除シタルトキハ其狀況
- 三點燈誘殺ハ各自ニ於テナシタルカ農會又ハ部落等共同シテナシタルカ其區別
- 四兒童ノ捕蛾採卵ニ對シ懸賞又ハ慰勞的金品給與ヲナシタルトキハ其給額割合等

第九表 (報告期限七月末日) 早植及正條植成績

農家總戸數	米作總反別	指定期限内ニ插秧シタルモノ		指定期限後ニ插秧シタルモノ		正條植ト爲シタルモノ	
		戸數	反別	戸數	反別	戸數	反別

注意 左記各項ハ備考トシテ附記スルコト

- 一插秧ノ始期終期最盛ノ月日
- 二指定期限後ニ插秧シタル事由
- 三正條植ニ用キタル用具ノ種類

第十表 (報告期限七月末日)

農家總戸數	苗代總反別	跡作ヲ實施シタルモノ		備考
		戸數	反別	

注意 備考欄ニハ從來實施シ來リタル戸數反別ト本年初メテ實施シタル戸數反別トヲ記載スルコト
第十一表 (報告期限五月二十日) 苗ノ生育狀況報告

字又ハ部落名	苗起及生育良否	苗ノ伸長	備考

注意

本表ハ五月二十日ノ現況ヲ調査シ即日報告スルコト
 字又ハ部落ハ成ルヘク小區域ニ依ルコト
 苗起及生育良否欄ニハ良、普通又ハ不良ト記スルコト
 苗ノ伸長欄ニハ中等苗代ニ就キ五ヶ所ヨリ一本ツ、ヲ拔取り之ヲ平均シタル長サヲ記載スルコト
 備考欄ニハ其字又ハ部落ニ於テ最モ早く播種シタル苗ト最モ後レテ播種シタル苗ノ長サヲ前項ニ
 ヨリ調査記載スルコト

第十二表 (報告期限七月二十五日)

大暑ニ於ケル稲作状況報告

稲品	種名	草丈	本数	病蟲害ノ有無	生育良否	備考

郡 町(村)

注意

品種ハ其町村内ニ作付セラレタル重ナル品種五種内外ヲ掲クルコト
 草丈ハ其町村内ニ於ケル中等ノ作柄ト認ムル個所ヲ撰定シ適宜五株ノ草丈ヲ度リ之ヲ平均シタル
 長サヲ記載スルコト
 本數ハ草丈ヲ度リタル稻株ニ就キ五株ノ總本數ヲ數ヘ之ヲ平均シタル本數ヲ記載スルコト
 病蟲害有無ノ欄ニハ何々病害アリ又ハ病害ナシ何々害虫アリ又ハ虫害ナシト記載スルコト
 生育良否欄ニハ良、普通、不良ト記載スルコト

第十三表 (報告期限八月二十五日)

二百十日一週間前ニ於ケル稲作状況報告

種	類	作付	歩合	草丈	本数	出穂状況	備考	
							本年作ニ比較シタル收穫豫想	備
早	稻							
中	稻							
晚	稻							

郡 町(村)

注意

草丈及本數ノ欄ニハ其町村内ニ於ケル中等作柄ノ個所ニ就キ適宜五株ヲ度リ之ヲ平均シタル數ヲ
 記載スルコト
 出穂状況欄ニハ何月何日頃ヨリ出穂目下何歩ト記載スルコト
 平年作ニ比較シタル收穫豫想欄ニハ何割何分増、平年作又ハ何割何分減ト記載スルコト

第十四表 (報告期限九月二十五日)

秋分ニ於ケル稲收穫豫想高報告

種	類	作付	反別	一反歩當收穫豫想高	總收穫豫想高
早	稻				
中	稻				

郡 町(村)

大正四年九月十五日印刷
大正四年九月十八日發行

宮城縣廳內

宮城縣米穀檢查所

仙臺市南町四十二番地

印刷人 股野七郎

仙臺市南町四十二番地

印刷所 東北活版社

電話六〇一番

142
229

第 一 〇 一 號

申 臨 報 東 洋 報 館

台 南 市 南 門 外 四 十 二 番 號

印 臨 人 鍾 理 士 源

台 南 市 南 門 外 四 十 二 番 號

宮 城 雜 米 蠟 燭 查 冊

宮 城 雜 錄 內

大 五 四 年 大 月 十 八 日 發 行

大 五 四 年 大 月 十 五 日 印 臨

終